注3

大学番号:286

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



# 福岡看護大学 看護学部 看護学科 注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

### 学校法人福岡学園 令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学生·入試課

課長 氏名 楢 崎 進 也

電話番号 092-801-0486

(夜間) 092-801-0411

F A X 092-801-0412

e —mail kkyoumu@college.fdcnet.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

• 大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について (依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目次

## 看護学部

< ₹	看護学科>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 11
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 12
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 13
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 24
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 26

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人福岡学園

- (2) 大学名 福岡看護大学
- (3) 調査対象大学等の位置

**7814-0193** 福岡県福岡市早良区田村二丁目15番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

#### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(スイ タ サチ ヨ) <b>水 田 祥 代</b> (平成27年3月)		
学長	( クボ タ ケイ コ ) <b>窪 田 惠 子</b> (平成29年4月)		
学 部 長	(イイ ノ ヒデ チカ) <b>飯 野 英 親</b> <sub>(平成29年4月)</sub>		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( ) 書きで記入してください。
  - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30) 令和元年度に報告する内容 → (元)

  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告 された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を 記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
  - ・ <u>様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)です</u>が、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

#### (5) -① 調査対象学部等の名称等

	学位又は学科の		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	™ <i>1</i> 5
看護学部 看護学科	保健衛生学関係 (看護学関係)	年 4	100	年次 人 0	人 400	
学士(看護学)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

#### (5) -(2) 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成	2 7	年度	平成2	8年度	平成2	9年度	平成3	0 年度	令和元	年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区	分	春季入学	<b>学</b> そ(	の他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	ИĦ	73
		7		人	7	人	人 1	人 00	人 10	0	人 10	)()				
Α	入学定員	(		)	(	)	(	- )	( -	- )	( -	- )				
		[		]	[	]	[	0 ]	[ 0	]	[ 0	) ]				
							424		395		426					
	志願者数	(	(	)	( )	( )	( - )	( )	( - )	( )	( - )	( )				
		L.	L		L J	L J	[ 0 ]		[ 0 ]	<u> </u>	[ 0 ]					
	可脸土料	,		`	, ,	, ,	410	, ,	385	, ,	418	, ,				
	受験者数	Г .		. 1	( )   r ]	( ) [ ]	( - ) [ 0 ]	[( )	[ - )	( )	( - ) [ 0 ]	( )	1. 13倍	-		
		L	L	. ]	LJ	L J	247	L J	[ 0 ] 219	L J	226	L J				
	合格者数	(	) (	)	( )	( )	( - )	( )	( - )	( )	( - )	( )				
		r i	ίľτ	· í	lì í	l í	r 0 1	lì í	r 0 1	Γí	r 0 1	r í				
							119		113		109					
В	入学者数	(	) (	)	( )	( )	( - )	( )	( - )	( )	( - )	( )				
		[ ]	] [	]	[ ]	[ ]	[ 0 ]	[ ]	[ 0 ]	[ ]	[ 0 ]	[ ]				
入	学定員超過率 B/A						1.	19	1.	13	1. (	09				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - · 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

#### (5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	7 年度	平成2	8年度	平成2	9年度	平成 3	0 年度	令和力	元年度	備考
学 年		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
						119	-	113	_	110	-	
1 🕏	年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 0 ]	[ - ]	[ 0 ]	[ - ]	[ 0 ]		※令和元年度1年次留年者は平成30年
		( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	(1)	( - )	度1年次休学者の復学による。
						-	-	117	-	115	-	
2 4	年次			[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ 0 ]	[ - ]	[ 0 ]	[ - ]	
				( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 4 )	( - )	
			$\overline{}$			-	-	-	-	108	-	
3 🕏	年次					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 0 ]	[ - ]	
						( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
								-	-	-	-	
4 <del>f</del>	年次							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
								( - )	( - )	( - )	( - )	
						11	19	23	30	3:	33	
Ē	Ħ	[	]	[	]	[ (	) ]	[ (	0 ]	[ (	0 ]	
		(	)	(	)	( -	- )	( -	- )	( !	5 )	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

#### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	<b>左学老粉(</b> い)	退学者数(a)		内訳		主な退学理由
対象年度	任于有数(D)	返于有奴(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
					うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
十成26年及			平成28年度	人	人	
			平成27年度	人	人	
平成29年度	119 人	2 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人) 進路変更(1人)
			平成27年度	人	人	
平成30年度	230 人	6 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	5 人	0 人	就学意欲の低下(3人) 進路変更(2人)
			平成30年度	1人	0 人	他の教育機関への転学(1人)
			平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	Д	
令和元年度	333 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		8 人		8	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

#### 【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a)       =       0         平成27年度の在学者数(b)       0	=	#DIV/0! %
【平成28年度】 平成28年度の退学者数(a) _ 0		[ (DD) (O)   O)
平成28年度の退学者数(a)     =     0       平成28年度の在学者数(b)     0       【平成29年度】	=	#DIV/0! %
平成29年度の退学者数(a)       =       2         平成29年度の在学者数(b)       119	=	1.68 %
【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) = 6	=	2.6 %
平成30年度の在学者数(b) 230 【令和元年度】		
<u>令和元年度の退学者数(a)</u> = <u>0</u> 令和元年度の在学者数(b) 333	=	0 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

### 2 授業科目の概要

### <看護学部 看護学科>

### (1)一① 授業科目表

### 【認可時又は届出時】

科目	四米シロックな	配当		单位数				員等			兼 任	乘
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助工	· 兼 担	D
	情報リテラシー	1前	<u>修</u>	択	由	<u>授</u>	授	師	教	手	2	╞
	論理的思考法	1後	1								1	
	基礎ゼミナール I	1前	1			3	3	3	1			
	基礎ゼミナール Ⅱ	1後	1			3	3	3	1			
	統計分析法	2前	1			1						
	日本語表現法(伝達表現)	1前	1								1	
	英語コミュニケーション I (基礎)	1前	1								2	
	英語コミュニケーション II (応用)	1後	1								2	
	英語コミュニケーションⅢ(実践) コミュニケーショントレーニング	2前 1後		1							2	
	健康と食生活	1前	1	'			1				5	
	ライフサイクルと成長発達	1前	1			1					2	
	well-being	1前	1			1						
基	家族関係と生活の営み	1後	1			1						
	個人・集団の心理と行動	2後	1								1	
礎	健康科学	1前		2							1	
分	社会経済と医療福祉	1後	1								1	
шч	まちづくり概論	1前		1							1	
野	福祉とデザイン	1前		1							1	
	民族・宗教と世界の歴史	1後		1							1	
	国際と協力	2前		1		1						
	社会制度と法律	2前		2							1	
	自己管理と社会規範	1前	1								1	
	自己形成と職業倫理	1後	1								1	
	他者理解と人間関係の形成	1後	1								1	
	チームワークとリーダーシップ	1後	1			1						
	地域活動と社会貢献	2前	1						3			
	看護教育のための生物学・化学	1前			1						2	
	看護教育のための数学	1前			1	1						
	看護教育のための物理学	1前			1						1	
	小計(30科目)	-										
	形態機能学(解剖 I )	1前	1								1	
	形態機能学(解剖Ⅱ)	1後	1								1	
	形態機能学(生理 I )	1前	1								1	
	形態機能学(生理Ⅱ)	1後	1								1	
専	形態機能学演習	1後	1								3	
門	栄養・代謝機能(生化学)	2前	1								2	
1.1	薬理学	1後	2			1						
基	病態疾病論 I	1後	2								4	
礎	病態疾病論Ⅱ	1後	2								4	
	病態疾病論Ⅲ	2前	2			1					4	
分	病態疾病論Ⅳ	2前	2								9	
野	感染免疫学	2前	1								1	!
	臨床工学	2前		1		1						
	公衆衛生学	2前	1								1	
	保健医療福祉行政論	2後	2								1	
	疫学	2後	2								1	
	保健統計	2後	1								3	
	사랑 (17차 모)											
	小計(17科目)	_								l		L

#### 【令和元年度】

			Ě	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
		1 %	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	情報リテラシー	1前	1			1					2
	論理的思考法	1後	1								1
	基礎ゼミナール I	1前	1			3	3	3	1		
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1			3	3	3	1		
	統計分析法 日本語表現法(伝達表現)	2前	1			1					
		1前	1								1
	英語コミュニケーション I (基礎)	1前	1								2
	英語コミュニケーション II (応用)	1後	1								2
	英語コミュニケーションⅢ(実践) コミュニケーショントレーニング	2前 1後		1							2
	健康と食生活	1前	1	'			1				5
	ライフサイクルと成長発達	1前	1			1					1
	well-being	1前	1			1					
基	家族関係と生活の営み	1後	1			1					
巫	個人・集団の心理と行動	2後	1								1
礎	健康科学	1前		2							1
分	社会経済と医療福祉	1後	1								1
′′	まちづくり概論	1前		1							1
野	福祉とデザイン	1前		1							1
	民族・宗教と世界の歴史	1後		1							1
	国際と協力	2前		1		1					
	社会制度と法律	2前		2							1
	自己管理と社会規範	1前	1								1
	自己形成と職業倫理	1後	1								1
	他者理解と人間関係の形成	1後	1								1
	チームワークとリーダーシップ	1後	1			1					
	地域活動と社会貢献	2前	1					2	1		
	看護教育のための生物学・化学	1前			1						2
	看護教育のための数学	1前			1	1					
	看護教育のための物理学	1前			1						1
	小計(30科目)	_									
	形態機能学(解剖 I )	1前	1								2
	形態機能学(解剖Ⅱ)	1後	1								2
Ī	形態機能学(生理 I)	1前	1								1
	形態機能学(生理Ⅱ)	1後	1								1
	形態機能学演習	1後	1								4
専	 	2前	1								2
門	薬理学	1後	2			1					2
	病態疾病論 I	1後	2			l					4
基	病態疾病論Ⅱ					4					
礎		1後	2			1					4
$^{\prime}$	病態疾病論Ⅲ	2前	2			1					4
分	病態疾病論Ⅳ	2前	2								9
野	感染免疫学	2前	1								1
	臨床工学	2前		1		1					
	公衆衛生学	2前	1				1				1
	保健医療福祉行政論	2後	2								1
	疫学	2後	2				1				1
	保健統計	2後	1				1				2
	. =1 /: ==:										
	小計(17科目)	-									

#### 「物可味マル民出味」

学目 区分	授業科目の名称	当	.57	<b>'88</b>	-4-	- 1.1					任
		年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
	看護学概論		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	有護子做論 基礎看護技術論演習	1前 1前	1			1	1	1	2		
	基礎有護技術編演者 日常生活援助論演習	1後	3				1	1	2		
	フィジカルアセスメント演習 I	1後	1				1	1	2		
	フィジカルアセスメント演習 Ⅱ	2前	1				1	1	2		
	治療援助論演習	2前	1				1	1	2		
	看護過程論	2前	1				1	1	2		
	well-being care	2後	1			1	_	1	2	10	
	基礎看護学実習 看護過程実習	1後 2後	1 2			1	3 4	5 5	8	10 10	
	成人看護学概論	1後	1			1	7	3	٥	10	
	急性期·回復期看護論 I	2前	1			2					
	急性期·回復期看護論 II	2後	1			2		1	1		
	慢性期·終末期看護論 I	2前	1			1	1				
	慢性期・終末期看護論Ⅱ	2後	1			2	1				
	健康回復支援論演習	3前	2			3	1	1	2		
	急性期·回復期看護学実習 慢性期·終末期看護学実習	3後 3後	3			3	1	1	2	1	
	母性看護学概論	3後	1			1	<b>'</b>	<b>'</b>		'	
	母性看護論	2後	1			1	1				
	母性看護論演習	3前	2			1	1				
	母性看護学実習	3後	2			1	1			1	
	小児看護学概論	2後	1			1					
	小児看護論	3前	1			1		1			
	小児看護論演習	3前	2			1		1	1		
	小児看護学実習 精神看護学概論	3後	2			1		1	1		
	精神看護論	2前 2後	1				1	1			
	精神看護論演習	3前	2				1	1			
	精神看護学実習	3後	2				1	1		1	
享	高齢者看護学概論	2前	1			1					
_	高齢者看護論	2後	1			1		1	2		
門	高齢者看護論演習	2後	2			1		1	2		
分	高齢者看護学実習	3後	2			1		1	2	1	
,	在宅高齢者看護学実習	3後	2			1		1	2	1	
野	在宅看護概論 在宅看護論	2前 3前	1			1 2	1		1		
	在宅看護論演習	3前	2			2	1	1	2		
	訪問看護論実習	3後	2			2	i	1	1	1	
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1				•	
	公衆衛生看護活動論 I (個人 家族・ケルーフ 支援方法)	2後	1			1	1				
	公衆衛生看護活動論 Ⅱ (組織·集団·地域支援方法)	3前		1		1					
	(組織·集団·地域支援方法) 公衆衛生看護活動論Ⅲ			1							
	(対象別公衆衛生看護活動 論)	3前		'		'	3				
	公衆衛生看護活動論Ⅳ (学校保健·産業保健·健康危機管理)	4前		1		1	1				1
	公衆衛生看護活動論 V (公衆衛生看護管理)	4前		1		1					
	公衆衛生看護学実習	4通		5		1	1		1		
	家族看護論	2前	1			1					
	看護倫理	2前	1			2	1				
	ロ腔健康科学論 在宅高齢者ケア	2後	1					4	0		4
	仕毛高節者ケア 口腔機能援助論	3前 4前	1			1	1	1	2		1
	well-being care統合	4削 4前	2				1	5	8		Ì '
	看護管理	4前	1			1		Ĭ			Ì
	包括的情報システム論	4前	1			1					1
	看護理論	1後		1		1					Ì
	リハビリテーション看護	2後		1		1					
	災害看護	4前		1				1	1		1
	国際看護	4前		1		1					
	看護研究方法論 看護課題研究	3前 4通	1 2			1 7	5	1			
	統合看護学実習	4連 4前	2			7	5 5	л 5	8		
	小計(61科目)	-	Ė								
_	合計(108科目)										H

卒業要件及び履修方法

平来安什及い腹診力法 基礎分野(必修19単位および選択科目5単位以上)では24単位以上、専門基礎分野(必修科 目23単位)および専門分野(必修科目75単位)では、選択科目(4単位以上)を履修し、合計 128単位以上を修得していること。 保健師国家試験受験資格を希望する者は、卒業要件(126単位)の他に、専門分野の『公衆 衛生看護学』の科目全て(9単位)を履修し、合計135単位以上を修得していること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【会和元年度】

<u> [</u>	↑和元年度 <u>】</u> │		ì	单位数	Str	声	(4.数	日生	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	具寸講	助助	助	任
区分	汉朱行古の石が	年 次				-	教授				兼
	看護学概論	1前	<u>修</u>	択	由	授 <b>2</b>	1	<u>卸</u>	教 0	手	担
	基礎看護技術論演習	1前	1			1	i	2	ō		
	日常生活援助論演習	1後	3			1	1	2	0		
	フィジカルアセスメント演習 I	1後	1			1	1	2	0		
	フィジカルアセスメント演習Ⅱ	2前	1			1	1	2	0		
	治療援助論演習 看護過程論	2前	1			1	1	2	0		
	有 設 週 作 imi well-being care	2前 2後	1			2	1	2	0		
	基礎看護学実習	1後	1			2	3	7	5	10	
	看護過程実習	2後	2			3	3	7	5	10	
	成人看護学概論	1後	1			1					
	急性期・回復期看護論 I	2前	1			2			١.		
	急性期・回復期看護論Ⅱ 慢性期・終末期看護論Ⅰ	2後	1			2		1	1		
	慢性期・終末期看護論 II	2前 2後	1			1 2	1				
	健康回復支援論演習	3前	2			3	1	1	2		
	急性期·回復期看護学実習	3後	3			3	1	1	2	1	
	慢性期・終末期看護学実習	3後	3			2	1	1	2	1	
	母性看護学概論	2後	1			1					
	母性看護論	2後	1			1	1				
	母性看護論演習 母性看護学実習	3前 3後	2			1	1			1	
	小児看護学概論	2後	1			1	'			'	
	小児看護論	3前	1			i		1			
	小児看護論演習	3前	2			1		1	1		
	小児看護学実習	3後	2			1		1	1		
	精神看護学概論	2前	1			1	0				
	精神看護論	2後	1			1	0	1			
	精神看護論演習 精神看護学実習	3前 3後	2			1	0	1		1	
車	高齢者看護学概論	2前	1			1	U	'		'	
_	高齢者看護論	2後	1			1		2	1		
門	高齢者看護論演習	2後	2			1		2	1		
分	高齢者看護学実習	3後	2			1		2	1	1	
71	在宅高齢者看護学実習	3後	2			1		2	1	1	
野	在宅看護概論 在宅看護論	2前 3前	1			1 2					
	在宅看護論演習	3前	1 2			2	1	2	1		
	訪問看護論実習	3後	2			2	1	1	1	1	
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1					
	公衆衛生看護活動論 I(個人・ 家族・ゲループ支援方法)	2後	1			1	1				
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	0 <del>14</del>									
	(組織·集団·地域支援方法)	3前		1		1					
	公衆衛生看護活動論Ⅲ (対象別公衆衛生看護活動 論)	3前		1		1	3				
	公衆衛生看護活動論IV (学校保健·産業保健·健康危機管理)	4前		1		1	1				1
	公衆衛生看護活動論 V (公衆衛生看護管理)	4前		1		1					
	公衆衛生看護学実習	4通		5		1	1		1		
	家族看護論	2前	1			1	_				
	看護倫理 口腔健康科学論	2前	1			3	0				,
	ロ腔健康科学調 在宅高齢者ケア	2後 3前	1			1		2	1		4
	口腔機能援助論	4前	1			l	1	_	1		1
	well-being care統合	4前	2				2	7	5		
	看護管理	4後	1			1					
	包括的情報システム論	4後	1			1					1
	看護理論 リハビリテーション看護	1後		1		1					
	リハビリナーション 有護 災害看護	2後 4後		1		1		1	1		1
	国際看護	4後		1		1		<b>'</b>	'		'
	看護研究方法論	3前	1			1					
	看護課題研究	4通	2			9	4	0			
	統合看護学実習	4前	2			9	4	7	5		
	小計(61科目)	-									
	合計(108科目)										
		太学	要件	ガケスド	湿(水)	上注.					

卒業要件及び履修方法

【平成29年度】

	P成29年度】	配	í	单位数	汝	車	任教	員等	の配	置	兼	1 1	<u> </u>	<sup>7</sup> 成30年度 <u>】</u>	Т
4目	授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助	助	任		科目	授業科目の名称	配
≅分	1文本行口の行が	年次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担		区分	及来行口の行が	年
	情報リテラシー	1前	1			1					2	l		情報リテラシー	1
	論理的思考法	1後	1								1			論理的思考法	١.
	基礎ゼミナール I	1前	1			3	1	2	1					基礎ゼミナール I	١.
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1			3	i	2	1					基礎ゼミナールⅡ	
	統計分析法	2前	1			1	'	2	'					統計分析法	L
			-			'					١.				ı
	日本語表現法(伝達表現)	1前	1								1			日本語表現法(伝達表現)	ľ
	英語コミュニケーション I (基礎)	1前	1								2			英語コミュニケーション I (基礎)	ľ
	英語コミュニケーション II (応用)	1後	1								2			英語コミュニケーション Ⅱ (応用)	ŀ
	英語コミュニケーション皿(実践)	2前		1							2			英語コミュニケーションⅢ(実践)	1
	コミュニケーショントレーニング	1後		1							1			コミュニケーショントレーニング	ŀ
	健康と食生活	1前	1				1				5			健康と食生活	١.
	ライフサイクルと成長発達	1前	1			1					2			ライフサイクルと成長発達	١.
基	well-being	1前	1			1							基	well-being	١.
	家族関係と生活の営み	1後	1			1								家族関係と生活の営み	
楚	個人・集団の心理と行動	2後	1								1		礎	個人・集団の心理と行動	ŀ
	健康科学	1前		2							1			健康科学	١.
分	社会経済と医療福祉	1後	1								1		分	社会経済と医療福祉	١.
野	まちづくり概論	1前		1							1		野	まちづくり概論	١.
±1	福祉とデザイン	1前		1							1		71	福祉とデザイン	١.
	民族・宗教と世界の歴史	1後		1							1			民族・宗教と世界の歴史	١.
	国際と協力	2前		1		1								国際と協力	L
	社会制度と法律	2前		2							1			社会制度と法律	L
	自己管理と社会規範	1前	1	_							1			自己管理と社会規範	١.
	自己形成と職業倫理	1後	1								1			自己形成と職業倫理	١.
	他者理解と人間関係の形成	1後	1								1			他者理解と人間関係の形成	
	チームワークとリーダーシップ	1後	1			1					l '			チームワークとリーダーシップ	ı
	地域活動と社会貢献	2前	1						3					地域活動と社会貢献	L
	看護教育のための生物学・化学	1前	ľ		1				Ĭ		2			看護教育のための生物学・化学	l
	看護教育のための数学	1前			1	1					l ~			看護教育のための数学	
	看護教育のための物理学	1前			1						1			看護教育のための物理学	١.
	小計(30科目)				<u>'</u>						l ·			小計(30科目)	H
	形態機能学(解剖 I )		_									<b>!</b>			Ł
		1前	1								1			形態機能学(解剖 I)	L
	形態機能学(解剖Ⅱ) 形態機能学(生理Ⅰ)	1後	1								1			形態機能学(解剖Ⅱ) 形態機能学(生理Ⅰ)	
		1前	1								1				l :
#	形態機能学(生理Ⅱ)	1後	1								1			形態機能学(生理Ⅱ)	
専	形態機能学演習	1後	1								3		専	形態機能学演習	L
明	栄養·代謝機能(生化学)	2前	1								2		門	栄養·代謝機能(生化学) 薬理学	ľ
	薬理学 症能疾症論 I	1後	2			1								, _ ,	ľ
基	病態疾病論I	1後	2								4		基	病態疾病論 I	l :
T##	病態疾病論Ⅱ	1後	2			_					4		T##	病態疾病論Ⅱ	
礎	病態疾病論Ⅲ	2前	2			1					4		礎	病態疾病論Ⅲ	1
分	病態疾病論Ⅳ	2前	2								9		分	病態疾病論Ⅳ	1
•	感染免疫学	2前	1	l .							1		,,	感染免疫学	1
野	臨床工学	2前		1	ĺ	1		ĺ		ĺ			野	臨床工学	ŀ
	公衆衛生学	2前	1								1			公衆衛生学	2
	保健医療福祉行政論	2後	2								1			保健医療福祉行政論	ŀ
	疫学	2後	2								1			疫学	ŀ
	保健統計	2後	1								3			保健統計	2
	小計(17科目)	-												小計(17科目)	H

【平成30年度】

科目		配当		单位数					の配		兼任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			修	択	由	授	授	師	教	手	担
	情報リテラシー	1前	1			1					2
	論理的思考法	1後	1								1
	基礎ゼミナール I	1前	1			3	3	3	1		
	基礎ゼミナール Ⅱ	1後	1			3	3	3	1		
	統計分析法	2前	1			1					
	日本語表現法(伝達表現)	1前	1								1
	英語コミュニケーション I (基礎)	1前	1								2
	英語コミュニケーション Ⅱ (応用)	1後	1								2
	英語コミュニケーションⅢ(実践)	2前		1							2
	コミュニケーショントレーニング	1後		1							1
	健康と食生活	1前	1				1				Ę
	ライフサイクルと成長発達	1前	1			1					2
基	well-being	1前	1			1					
	家族関係と生活の営み	1後	1			1					
礎	個人・集団の心理と行動	2後	1								1
分	健康科学	1前		2							1
/,	社会経済と医療福祉	1後	1								1
野	まちづくり概論	1前		1							1
	福祉とデザイン	1前		1							1
	民族・宗教と世界の歴史			1							
	国際と協力	2前		1		1					
	社会制度と法律	2前		2							
	自己管理と社会規範	1前	1								
	自己形成と職業倫理	1後	1								1
	他者理解と人間関係の形成		1								1
	チームワークとリーダーシップ	1後	1			1					
	地域活動と社会貢献 看護教育のための生物学・化学	2前	1					2	1		,
	看護教育のための数学	. 13.3			1						2
	看護教育のための物理学				1	1					
		1前			-						
	小計(30科目) 形態機能学(解剖 I)	1 24	-								۰,
	形態機能学(解剖Ⅱ)	1前 1後	1								2
	形態機能学(生理 I)	1前	1								
	形態機能学(生理Ⅱ)	1後	1								
車	形態機能学演習	1後	1								2
7	栄養・代謝機能(生化学)	2前	1								2
門	薬理学	1後	2			1					-
++	病態疾病論 I	1後	2			'					_
基	病態疾病論Ⅱ	1後	2								2
礎	病態疾病論Ⅲ	2前	2			1					4
	病態疾病論IV	2前	2			Ċ					ç
分	感染免疫学	2前	1								1
野	臨床工学	2前		1		1					
Σľ	公衆衛生学	2前	1								1
	保健医療福祉行政論	2後	2								1
	疫学	2後	2								1
	保健統計	2後	1								(
			ļ .								ľ
	小計(17科目)	_									
	'J			i i			i	i	i		

【平成29年度】       配       単位数       専任教員等の配置									罟	兼	
科目	担業利日の夕称	当	必	選	自	教	准	貝守講	助助	助	任
区分	授業科目の名称	年次					教				兼
	看護学概論	1前	<u>修</u>	択	由	授 1	授 1	<u>師</u>	教 2	手	担
	基礎看護技術論演習	1前	1			ľ	1	1	2		
	日常生活援助論演習	1後	3				1	1	2		
	フィジカルアセスメント演習 I フィジカルアセスメント演習 II	1後	1				1	1	2		
	治療援助論演習	2前 2前	1				1	1	2		
	看護過程論	2前	1				1	1	2		
	well-being care	2後	1			1		1	2		
	基礎看護学実習看護過程実習	1後 2後	1 2			1	1 4	<b>3</b> 5	<b>7</b> 8	6 10	
	成人看護学概論	1後	1			Ö	4	5	٥	10	1
	急性期・回復期看護論 I	2前	1			2					•
	急性期・回復期看護論Ⅱ	2後	1			2		1	1		
	慢性期·終末期看護論 I 慢性期·終末期看護論 II	2前 2後	1			1 2	1				
	健康回復支援論演習	3前	2			3	1	1	2		
	急性期•回復期看護学実習	3後	3			3	1	1	2	1	
	慢性期・終末期看護学実習	3後	3			2	1	1	2	1	
	母性看護学概論 母性看護論	2後	1			1					
	母性看護論演習	2後 3前	2			1	1				
	母性看護学実習	3後	2			1	1			1	
	小児看護学概論	2後	1			1					
	小児看護論 小児看護論演習	3前	1 2			1		1	,		
	小児看護学実習	3前 3後	2			1		1	1		
	精神看護学概論	2前	1			·	1		ľ		
	精神看護論	2後	1				1	1			
	精神看護論演習 精神看護学実習	3前 3後	2				1	1		1	
専	高齢者看護学概論	3版 2前	1			1	'	'		'	
門	高齢者看護論	2後	1			1		1	2		
,	高齢者看護論演習	2後	2			1		1	2		
分	高齢者看護学実習 在宅高齢者看護学実習	3後 3後	2			1		1	2	1	
m4	在宅看護概論	2前	1			1		'		'	
野	在宅看護論	3前	1			2	1		1		
	在宅看護論演習	3前	2			2	1	1	2		
	訪問看護論実習 公衆衛生看護学概論	3後 1後	2			2	1	1	1	1	
	公衆衛生看護活動論 I (個人・		_			-					
	家族・グループ支援方法)	2後	1			1	1				
	公衆衛生看護活動論 Ⅱ (組織·集団·地域支援方法)	3前		1		1					
	公衆衛生看護活動論Ⅲ (対象別公衆衛生看護活動 論)	3前		1		1	3				
	公衆衛生看護活動論Ⅳ (学校保健·産業保健·健康危 機管理)	4前		1		1	1				1
	公衆衛生看護活動論 V (公衆衛生看護管理)	4前		1		1					
	公衆衛生看護学実習 家族看護論	4通		5		1	1		1		
	家族有護論 看護倫理	2前 2前	1			1 2	1				
	口腔健康科学論	2後	1			-	ļ '				4
	在宅高齢者ケア	3前	1			1		1	2		
	口腔機能援助論 well-being care統合	4前	1				1	F	1		1
	well-being care統合 看護管理	4前 4前	2			1	1	5	8		
	包括的情報システム論	4前	i			i					1
	看護理論	1後		1		1					
	リハビリテーション看護 災害看護	2後 4前		1		1		1	1		1
	国際看護	4前		1		1		<b>'</b>	'		
	看護研究方法論	3前	1			1					
	看護課題研究	4通	2			7	5	1	_		
	統合看護学実習	4前	2 ⊬ ਜਜ /4		<u> </u>	7	5	5	8		

4前 2 卒業要件及び履修方法

基礎分野(必修19単位および選択科目5単位以上)では24単位以上、専門基礎分野(必修科目23単位)および専門分野(必修科目75単位)では、選択科目(4単位以上)を履修し、合計126単位以上を修得していること。 保健師国家試験受験資格を希望する者は、卒業要件(126単位)の他に、専門分野の『公衆衛生看護学』の科目全て(9単位)を履修し、合計135単位以上を修得していること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【平成30年度】

		和业		单位数					の配		兼任
斗目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
	看護学概論	1 86	<u>修</u>	択	由	授	授	師	教 0	手	担
	有設子似細 基礎看護技術論演習	1前 1前	1			2	1	2	0		
	日常生活援助論演習	1後	3			1	1	2	Ō		
	フィジカルアセスメント演習 Ι	1後	1			1	1	2	0		
	フィジカルアセスメント演習Ⅱ	2前	1			1	1	2	0		
	治療援助論演習 看護過程論	2前 2前	1			1	1	2	0		
	well-being care	2後	i			l i	i	2	ő		
	基礎看護学実習	1後	1			2	3	7	5	10	
	看護過程実習	2後	2			3	3	7	5	10	
	成人看護学概論	1後	1			1					(
	急性期·回復期看護論 I 急性期·回復期看護論 II	2前	1			2					
	○住場・回復別看護論 I 慢性期・終末期看護論 I	2後 2前	1			2	1	1	1		
	慢性期·終末期看護論 II	2後	i			2	i				
	健康回復支援論演習	3前	2			3	1	1	2		
	急性期 • 回復期看護学実習	3後	3			3	1	1	2	1	
	慢性期・終末期看護学実習	3後	3			2	1	1	2	1	
	母性看護学概論 母性看護論	2後	1			1	4				
	母性看護論 母性看護論演習	2後 3前	1 2			1	1				
	母性看護学実習	3後	2			1	1		ĺ	1	Ì
	小児看護学概論	2後	1			1	·				Ī
	小児看護論	3前	1			1		1			
	小児看護論演習	3前	2			1		1	1		
	小児看護学実習	3後	2			1	_	1	1		
	精神看護学概論 精神看護論	2前	1			1	0				
	精神看護論演習	2後 3前	1 2			1	0	1			
	精神看護学実習	3後	2			i.	ő	i		1	
2 1	高齢者看護学概論	2前	1			1	_			•	
a l	高齢者看護論	2後	1			1		2	1		
1	高齢者看護論演習	2後	2			1		2	1		
ì	高齢者看護学実習	3後	2			1		2	1	1	
	在宅高齢者看護学実習在宅看護概論	3後 2前	2			1		2	1	1	
ř	在宅看護論	3前	1			2	1		1		
	在宅看護論演習	3前	2			2	1	2	l i		
	訪問看護論実習	3後	2			2	1	1	1	1	
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1					
	公衆衛生看護活動論 I (個人・ 家族・グループ支援方法)	2後	1			1	1				
	公衆衛生看護活動論 Ⅱ (組織·集団·地域支援方法)	3前		1		1					
	公衆衛生看護活動論Ⅲ (対象別公衆衛生看護活動	3前		1		1	3				
	論)	נימכ		'		l '	J		ĺ		Ì
	公衆衛生看護活動論Ⅳ (学校保健·産業保健·健康危 機管理)	4前		1		1	1				1
	公衆衛生看護活動論 V (公衆衛生看護管理)	4前		1		1					
	公衆衛生看護学実習	4通		5		1	1		1		Ì
	家族看護論	2前	1			i	·				Ī
	看護倫理	2前	1			3	0				
	口腔健康科学論	2後	1								4
	在宅高齢者ケア	3前	1			1	,	2	1		
	口腔機能援助論 well-being care統合	4前	1				1	-	1		1
	well-being care統合 看護管理	4前 4後	2			1	2	7	5		Ì
	包括的情報システム論	4後	1			1					1
	看護理論	1後	l .	1		1					
	リハビリテーション看護	2後		1		1					
	災害看護	4後		1				1	1		1
	F 100 ≠ =#	4後		1		1			l		
	国際看護							i i			
	国际有護 看護研究方法論 看護課題研究	3前 4通	1 2			1 9	4	0			

卒業要件及び履修方法

基礎分野(必修19単位および選択科目5単位以上)では24単位以上、専門基礎分野(必修科

参院力野(必称)1号単位のよび連択付日3年世以上、6日24単位以上、等日金院力野(必修科目 123単位)および専門分野(必修科目75単位)では、選択科目(4単位以上)を履修し、合計 126単位以上を修得していること。 保健師国家試験受験資格を希望する者は、卒業要件(126単位)の他に、専門分野の『公衆 衛生看護学』の科目全て(9単位)を履修し、合計135単位以上を修得していること。 (優修科目の登録の上限:48単位(年間))

- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
  黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

  - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

#### (1) - ②授業科目表に関する変更内容

#### 【平成29年度】

- ・「情報リテラシー」、「看護教育のための物理学」担当の兼任講師1名の辞退による変更、兼任講師2名で対応。 ・「基礎ゼミナールI」、「基礎ゼミナールII」、「基礎看護学実習」について、平成29年度着任教員のみで対応のため、専任教員等の 配置を変更
- 「成人看護学概論」担当の教員が、平成30年度から専任教員として着任するため、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を平成29年 について「教授1」から「兼任1」に変更。

#### 【平成30年度】

・専任教員のうち准教授2名、講師1名、助教3名について、職位の変更に係る専任教員採用等設置計画変更書を平成29年12月に提出 し、6名全ての教員が職位適格の審査結果を受け、平成30年4月1日付で教授2名、准教授1名、講師3名への昇任となった。専任教員の増減については、職位変更によるものだけで設置計画どおり着任している。

- 「社会経済と医療福祉」について、兼任講師の変更。

- ・「形態機能学(解剖 I)」について、兼任講師の変更及び2名によるオムニバス形式に変更。 ・「形態機能学演習」について、兼任講師1名辞退による変更及び教育課程充実のため兼任講師1名の追加。 ・平成30年度より専任教員として着任したことにより、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。 ・「看護管理」、「包括的情報システム論」、「災害看護」、「国際看護」の開講期について、4年次「前期」から「後期」に変更。

#### 【令和元年度】

・本学専任教員が平成31年1月のAC教員審査において可となったため、「ライフサイクルと成長発達」の兼任・兼担の配置を「兼任・兼担2」

- ・本学専任教員が平成31年1月のAC教員審査において可となったため、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教 授1」に変更し、オムニバスで行う。
- ・本学専任教員が平成31年1月のAC教員審査において可となったため、「疫学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」 に変更し、オムニバスで行う。
- ・本学専任教員が平成31年1月のAC教員審査において可となったため、「保健統計」の専任教員等の配置を「准教授〇」から「准教授1」に変更し、兼任・兼担の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。 ・本学専任教員が平成31年1月のAC教員審査において可となったため、「well-being care」の専任教員等の配置を「教授1」から「教
- 授2」に変更。
- (注)・ 2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
  - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 授業科月数

			設置時	の計画							変更	状沉	2					備考
必何	多	選	択	自	由	計(A	۹)	必修	<u> </u>	選択	5		自由	3		計		) 拥 行
87	科目	18	科目	3	科目	108	科目	- 0	科目	- 0	科目	[	- 0	科目	[	- 0	科目	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

#### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

#### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

#### 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内					容	}			備考
(1)		区	分		専	用		共	用			用する 校等の			i	 計	・福岡歯科大学 (11,047 m) ・福岡医療短期大学
+		校 ء	宗敷 地	Ē			0m²	64, 415. 53	64, 721. 4	47 m²		1	, 159. 00	ກໍ 65, 574	. 53	65, 880. 47 m²	(3, 200㎡) と共用 ( ) 内は設置基準面積 ・福岡歯科大学医科歯科総合
校		運動	場用地				0m²	28, 441. 95	27, 985. 9	95 m²			0:	n 28, 441	. 95	<del>27, 985. 95</del> ㎡	病院薬局の薬剤師確保困難解 消及び患者の利便性向上のた め院外薬局をキャンパス内テ
地		小	計				0m²	92, 857. 48	92, 707. 4	<del>12</del> m²		1	, 159. 00	ກໍ 94, 016	. 48	<del>93, 866. 42</del> m²	ニスコート敷地の一角に設置 した。 (30)
等		そ	の他	l			0m²			0m²		9	, 503. 58	'n		9, 503. 58m²	・現在、福岡歯科大学医科歯 科総合病院の建替工事を行っ ており院外薬局を移転した。
ਚ		合	計	•			0m²	92, 857. 48	92, 707. 4	<del>12</del> m²		10	, 662. 58	ท์ 103, 52	20. 06	<del>103, 370. 00</del> ㎡	(元)
					専	用	1	共	用			用する 校等の			i	計	・福岡歯科大学(17,200 ㎡)・福岡医療短期大学
(2) 校			舎			6, 39	7. 09 m²	7, 206. 22	7, 189. 8	32 m² 3	32, 632.	75 32	<del>2, 661. 15</del>	n 46, 236	. 06	4 <del>6, 248. 06</del> m²	(3,450㎡)と共用 ・共用及び共用する他の
					(	6, 397. 0	)9m²)	(7, 206. 22	<del>7, 189. 82</del>	≧m³)	(32, 632	2. <b>7</b> 5 32	<del>, 661. 15</del> ㎡	(46, 23	86. 06	<del>46, 248. 06</del> m²)	学校等の専用の変更(元)
				講	義室		演習	室	実験:	実習室	È	情報処	0.理学習	施設	語学	学習施設	
(3) 教		室	等			4室		8室			3室			1室		0室	大学全体
											•	(補助	助職員 -	人) (	補助	職員 -人)	
(4) 専	) 専任教員研究室				新	i設学部 <sup>4</sup>	等の名称					室		数			
						看	護学部	看護学科			1		25			室	
	新設学部等			[	図 書		学術	維誌				視聴覚	党資料	機械・器	.具	標本	
(5)	韦	新設学部等 の名称		〔う	ち外国書〕		〔うち外	·国書〕	電子ジ	ャーナ	トル						
						₩		種	〔うち	外国書	事〕		点		点	点	
図書	看護	学部看	護学科	4,	846 (252)		3	89 (6)		4 (	4)	34	18	6,	164	24	
• 設				(4,	846 (252)	)	(3	89 (6) )		(4 [	4])	(34	18)	( <del>6, 164 <del>6, 0</del></del>	92)	(24)	
備		計			846 (252)			89 (6)		4 [	4)	34	18	6,	164	24	
				(4,	846 (252)			89 (6) )		(4 [		(34	18)	(6, 164 <del>6, 0</del>		(24)	
(6) 図		書	館		面	積			閲覧		数		収	納可		册 数	
					_	1:	396. 37	m	,	96	- 6		°46		640		大学全体
(7) 体		育	館		面	租		2 =			館以を		ピーツ施			1 61	L W. A. ()
	1			-	<i>(</i> )		, 672. 00			道 ·	,	場			- ·		大学全体
(0)		経費	<u></u>		分		年度				分		前年度	開設年月		完成年度	
(8) 経費の	) 見	の見 積り			研究費等		53千円	354∓		書購入		-	16千円	8, 2907	-	1,978千円	図書費には電子ジャーナ
積り及維持方	なび	ж. г.			究 費 等		00千円	3,000千		構購入 ┃			55千円	22, 3437			ル・データベースの整備 費(運用コスト含む)を
の概		学生 1	١.		1 年次		2年次		3年次		第4年		第 5	年次		第6年次 ————	含む。
	-	納付			1,800千円		1,500千	- 1	1,500千円		1, 50	00千円		千円		千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要 寄付金、補助金収入等																

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4. 既設大学等の状況

大学の名称	福岡	看護大	学								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在均	也		
看護学部看護学科	年 4	人	年次 人 -	400	学士(看護学)	倍 1.13	年度 -	年度平成29年度	福岡県福岡市早良区E 丁目15番1号	年度		
大学の名称	福岡	歯科大	学								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在均	也		
口腔歯学部口腔歯学科	6	120	I	720	<b>学士</b> (歯学)	0. 76	-	昭和48年度	福岡県福岡市早良区E 丁目15番1号	田村二		
歯学研究科歯学専攻	4	18	_	72	博士(歯学)	0. 56	-	昭和60年度	福岡県福岡市早良区 丁目15番1号	田村二		
大学の名称	福岡	医療短	朝大学								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在均	土		
	年	人	年次	人		倍						
歯科衛生学科	3	80	-	240	短期大学士(歯科衛生学)	0. 82		平成9年度	福岡県福岡市早良区E 丁目15番1号	田村二		
保健福祉学科	2	40	ı	80	短期大学士 (介護福祉学)	0. 22		平成12年度	福岡県福岡市早良区E 丁目15番1号	田村二		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

#### (1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	【平原	戊29	年度】	【平月	<b>或30</b> :	年度】	<b>【</b> 令	和元年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
専	教授 (学 長)	担当授業科目名  定田 惠子  《平成29年4月>  者護學概論  着護學概論  基礎者競學樂習  well-being care  看養過理  高語者養變學概論	專	教授 (学長)	担当授業科目名  定田 惠子  《平成29年4月>  Well-being  看護學概論  若疑學概論  基礎看護學樂習  Well-being care  看護倫理 高齡者舊獎學概論	専	教授 (学 長)	担当授業科目名  定田 惠子  《平成29年4月>  Well-being  看護理論  基礎看護学案習  well-being care  看護過程  高級者養養學業質  新聞表	専	教授(学長)	担当授業科目名  窪田 惠子  < <u>平成29年4月&gt;</u> well-being 看護学裁論 看護學裁論 基礎看護學美習 well-being care 看護倫理
専	教授 (学部 長)	版野 英親 平成29年4月> 家族開後空機 ・ 中成29年4月> 家族開後空機 ・ 中成29年4月> 家族開後空機 ・ 神子では、一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の	專	教授 (学部 長)	飯野 英親 《平成29年4月》 家族関係と生活の営み 小児看護学概論 家族看護論	專	教授 (学部 長)	飯野 英親 <平成29年4月> 家族関係と生活の営み 小児看護学概論 家族看護論	専	教授(学部長)	施野 英根 <平成29年4月> 家族同様と生活の営み 小児看護護論 不成29年8月 (東京 日本
専	教授	岩本 利惠 《平成29年4月》 《平成29年4月》  慢性期,終末期看護論 I 慢性期,終末期看護論 I 慢性原回復支援論演置 安美語演選 受性期,經本期看護學 天智 智捷課題 7年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年	專	教授	岩本 利惠 《平成29年4月》  「世性期・終末期看護論 I 世性期・終末期看護論 I 世集回復支援論演習 总性期・回復期看護学来習 世代則,終末期看護学来習 智慧誘題等等。 終末期看護学來習 看護師整理於,就合看護学來習	專	教授	岩本 利惠 《平成29年4月》  個性期,終末期看護論 1 個性期,終末期看護論 1 個性調,終末期看護論 2 個性回復 2 個別看護学業 習 個性規,因使期有選手業 3 個別 6 個別	専	教授	潜本 利惠 《平成29年4月》  慢性期,終末期看護論 I 懷性期,終末期看護論 I 懷性期,終末期看護論 I 懷性期,終末期看護門 愈性期,但是期看護學実習 看護民難時完,終末期看護學美習 看護民難時失 對 64 看護學美質
専	教授	内田 荘平  《平成29年4月>  チ-Lワ-カとリ・ゲーンファ  臨床エ学  念性期・回復期看護論 I  念性期・回復期看護論 I  念性期・回復期看護論 T  微生順を回復支援書  電急性期・回復期看護学実習  看護護難研究  続合看護学実習	專	教授	内田 荘平  《平成29年4月>  デールワーナとリーヴ・ジップ 協族工学 急性期・回復期看護論 I 急性期・回復期看護論 I 急性期・回復期看護論 I 急性期・回復期看護論 I 急性期・回復期看護学 素質課題都デ究 就会看護学実習	專	教授	内田 荘平 《平成29年4月> チ-ムワ-クとリードーシップ 臨医性期・回復期看護論 I 急性期・回復期看護論 I 急性原回復支援期者。 急性原回復支援期者。 宣復期看護学実習 者護護難研究  就合者護学実習	専	教授	内田 荘平  《平成29年4月>  デーバー・フとリ・ヴ・シップ  臨床工学  急性期・回復期看護論 I  急性期・回復期看護論 I  急性期・回復期看護学実習  者護護題等実習  報ば、回復期看護学実習
専	教授	大久保 つや子 < <u>&lt;平成29年4月&gt;</u> 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 薬理学 岡田 賢司	専	教授	大久保 つや子 <平成29年4月> 基礎t'ミナルI 基礎t'ミナルI 薬理学 岡田 賢司	専	教授	大久保 つや子 <平成29年4月> 基礎t ミナール I 基理学 岡田 賢司	専	教授	大久保 つや子 <平成29年4月> 基礎t 計・h I 基礎t 計・h I 薬理学 岡田 賢司
専	教授	《平成29年4月》 基礎*(注十»Ⅱ 基礎*(注十»Ⅱ 利7サイクルと成長発達 病態疾病論Ⅲ	専	教授	(平成29年4月> 基礎セミナール I 基礎セミナール I ライフザイカルと成長発達病態疾病論Ⅲ	専	教授	《平成29年4月》 基礎セミナール I 基礎セミナール I ライフサイカルと成長発達病態疾病論Ⅲ	専	教授	(平成29年4月) 基礎*(シナル 目 ライフィルシール
専	教授	角森 輝美 《平成29年4月〉 公衆衛生看體學報論 (個人·家族·方·名程數論 (個人·家族·方·名程數 (個人·家族·方·方·名程數 (個人·家族·方·方·名程數 (個人·家族·方·方·名程數 (個人·家族·方·方·名程數 (個人·家族·方·方·名程数 (個人·家族·方·方·名程数 (個人·家族·方·方·名程数 (個人·家族·方·方·名程数 (個人·家族·方·名程数 (個人·家族·方·名表) (個人·	專	教授	角森 輝美 《平成29年4月》 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護光動論(個人・ 安康生看護遊論 第一次表情生看護施 如衆衛生看護施 衛生看護論演習 公衆衛生看護論演習 公衆衛生看護活動論(回 以次衛生看護活動論) 当時的情報公果智 出海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北	專	教授	有森 輝美 《平成29年4月〉 公衆衛生有機論 (個人・家族・沙・福建 (個人・家族・沙・福護 (個人・家族・沙・福護 (個人・家族・沙・名 (個人・家族・) (個人・家族・) (日本 (個人・) (日本 (個人	専	教授	角森 輝美 《平成29年4月》 公衆衛生看護学概論 公衆衛士看護学概論 公衆衛士看護法所法) (個人·家 法・官・看護論。 (個人·家 在主者護論,演活方法) 在主者域論清潔活方動論 以公衆衛生看域连接方動論 公衆衛生看護護通 並、東京 、東京 、東京 、東京 、東京 、東京 、東京 、東京 、東京 、東京
専	教授	概原 恭子 〈平成29年4月〉 母性看護學報論 看護學報論 看護學報論 看護達寶寶 母性看護與李寶 母性種類與李寶 母性種類與李寶 報告看護與李寶 報合看護李婁賈	専	教授	梶原 恭子 《平成29年4月> 母性看護学嘅論 看護者護学嘅論 看護者護學家 看護者護學家 看護者護學家 可性者護學家 實 看護者護學家 實 報告等 報告等 報告等 報告等 報告等 報告等 報告等 報告等	専	教授	模原 恭子  《平成29年4月》  母性看護學概論  看護學概論  看護姆音護論  母性看護維美漢  母性養護維美漢  智養神疾  競奇者護學東  歌  就會者養養	専	教授	有版地程美論 安性看護漢字 母性看護漢字習 看護課題研究 統合看護学実習
専	教授	嶋田 香 <平成29年4月> 情観9万5- 看護教育のための数学 統計分析法 基礎ときナルⅠ 基礎ときナルⅠ	専	教授	嶋田 香 <平成29年4月> 情報リテラシー 看護教育のための数学 裁議せきナルⅠ 基礎セミナルⅡ	専	教授	嶋田 香 < <u>平成29年4月&gt;</u> 情報/打ジー 看護教育のための数学 統計分析法 基礎とジールⅠ 基礎とジールⅠ	専	教授	嶋田 香 <平成29年4月> 情報リテラー 看護教育のための数学 統計分析法 基礎* 「キート I 基礎* ミナート I
専	教授	宮園《篠原》真美 《平成30年4月> 高高2年4月> 高高2年4月> 高高2年4月> 高高2年4月> 高高2年4月 高高2年4月 高高2年4月 高高2年2年3年3日 高高2年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年	専	教授	宮園 (篠原) 真美 《平成30年4月> 高齢者者種護論論演習 在宅者養護論論演習 在宅者養護論論演習 在宅書養養治學子裏習 を表示的者者養養治學子裏習 を表示的者等。 「一個表示的者養養」等 の表示の表示を表示。 「一個表示の表示を表示。 「一個表示の表示を表示。」 「一個表示の表示。」 「一個表示。」	專	教授	宮園 (榛原) 真美 《平成30年4月》 高前名名表示。 (本成30年4月》 高前名名表示。 (本成30年4月》 高前名名表示。 (本成30年4月》 高前名名表示。 (本成30年4月》 高前名名表示。 (本成30年4月) 高前名名表示。 (本成30年4月) 高前名名表示。 (本成30年4月) 高前名名表示。 (本成30年4月) 高前名表示。 (本成30年4月) 高前名表示。 (本成30年4月)	専	教授	宮園 (篠原)真美 < 平成30年4月> 高約者看護學概論 高約者看護論論 高約者看護論論 高約者看護論論 在宅者看護議論 在宅者看護議論 位宅者看護議論 位宅者看護議論 在宅宅高着整務。 至宅高等者名論英習 有主高數器或字字覆置 看數据或字字響 對於問義與漢字字響 對於問義與漢字字響 對於問義與漢字字響

専任・			専任・			専任・			専任	£٠		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼付の別	∄· £	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		村田 節子 <平成30年4月>			村田 節子  <平成30年4月>			村田 節子  <平成30年4月>				村田 節子  <平成30年4月>
専	教授	「中級のサイフタン 国際とは、回復期看護論 I 急性期。回復期看護論 I 例が、リーラン名 原理の復生機構 関係では ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	専	教授	下ルルル・ナバノ 国際と協・回復期看護論 I 急性性期・回復期看護論 I 急性性期・終末期報護論 I リル・リーシル看護 (東回復文援線素習 急性期・回復期看護学実習 (急性期・終末期看護学実習 個国際種談理学実習 個国際看護学実習 有続合種護学実習 有続合種類学実習	專	教授	(下成のペーハク) 国際と協力の保護を持ち、 (中域の保護を発展) 急性期、 (中域の保護を発展) は性期、 (中域の保護を発展) は性期、 (中域の保護を発展) は使性期、 (中域の保護を発展) は、(中域の保護を発展) は、(中域の保護	3	存		(中派の4・17) 国際と協力 自然 明 和 報告 報 論 1 急性期 : 回復 明 君 報 論 1 急性期 : 回復 明 君 報 論 I 世 世 知 : 明 在 明 君 報 論 I 世 世 性 知 : 明 在 明 君 報 論 I 世 世 性 知 : 明 在 明 在 明 在 明 在 明 在 明 在 明 在 明 在 明 在 明
兼任	講師	村田 節子  <平成29年4月>	兼任	講師	村田 節子  《平成29年4月》							
		成人看護学概論 青木 久恵			成人看護学概論 青木 久恵			青木 久恵	H			青木 久恵
専	准教授	《平成29年4月》 看達学概論 基礎看護技術協演習 日常生活援助協演習 日常生活援助協演習 7/5 加743/75247/漢聖 I 基礎看護学実習 7/5 投援的協演習 看護過程協議 看護過程被研究 看護過程被研究 看護過程被研究 看養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養	専	准教授	《平成29年4月》 看護学振論 基礎看護技術協演習 日常生元报》が選習 17年2年元报》が選習 17年2年元报が決選習 13年2年元報の 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元報 17年2年元	専	教授	《平成29年4月》 者護學概論 基礎看護技術論演習 日常生活援助論演習 日常生活援助論演習 以於加於以外演習 基礎的養護學実際 計學的表別 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	1	萨	教授	《平成29年4月》 看護学概論 基礎看護學表演 日常生活援助論演習 日常生活援助論演習 7分 が形なみ決演習 I 基礎看護學実習 7分 が形なみ決演習 I 法 遊戲過程論 well-being care 看護過程要習 看護過程要習 看護過程要習 看護看護學実習
		大城 知子			大城 知子			大城 知子	F			大城 知子
専	准教授	《平成30年4月》 基礎性 5十5 I 基礎性 5十5 I 基礎 指揮字架習 慢性性期 4 終末期帶護論 I 慢性性期 4 終末期帶護論 I 慢性期 4 終末期帶護論 I 看護康田便 4 新國語 I 对象別公衆衛生期 6 回復 財務 1 以 2 東 習 世 1 中 1 回復 財務 1 世 1 世 1 中 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世	專	准教授	《平成20年4月》 基礎於計為日基礎於計為日基礎的計為日本 基礎的計為日本 表面的 日本 和 一本 和	專	准教授	《平成30年4月》 基礎ピジナルI 基礎監禁 ジナルI 基礎監禁 ジナルI 基礎監禁 ジナルI 基礎監算 架架 標準 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医	1	<b>孛</b>	准教授	《平成:00年4月》 基礎化:計-FI I 基礎指於:計-FI I 基礎指於:計-FI I 基礎指則
		中島 富有子			中島 富有子			中島 富有子				中島 富有子
専	准教 授	《平成29年4月》 精神智證学概論 精神智證学概論 精神智證過過證過過 報過過證過過報 新神智智證過程 新神智智證研究 新 有護課題研究 新 新 新 新 新 新 新 新 新 有 表 所 神 相 看 意 一 表 一 表 一 表 一 表 一 表 一 表 一 表 一 表 一 表 一	専	准教授	《平成29年4月》 精神有護学概論 精神有護學概論 精神複雜 競過過速過程 動態過程 動態過程 動態 動態 動態 動態 動態 動態 動態 動態 動態 動態	専	教授	《平成29年4月》 精神看護學振論 精神看護過過 養殖過程 新神看護遇過 養殖過程 新神看護 護 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	ī	萨	教授	《平成29年4月》 精神看護海 精神看護海 精神相看護海 護過過護海 護過 新 東 第 等
専	准教授	《平成30年4月》 基礎(* 17+5 II 基礎(* 17+5 II 基基礎者援援論署 對性性過程護論署 對性性過程護論與 對性性過程護論與 對性情報等 對於自然等例 ,  「競響等別 」  「競響等別 」  「競響等別 」  「競響等別 」  「競響等別 」  「大震響等 」 「大震震響等 」 「大震震響等 」 「大震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震震	専	准教授	《平成30年4月》 基礎化 シナル I 基礎化 シナル I 基礎名 製造 学 実習 母性 看護論 看 名詞 と	專	准教授	(平成30年4月) 基礎性(計→1月) 基礎性(計→1月) 基礎性(計→1月) 基基級性看機和機能 有機和機能 有機和機能 有機和機能 有機和機能 可能	3	萨	授	(平成30年4月) 基礎性(計)を月1日 基礎性(計)を月1日 基基礎性(計)を月2日 日本語(計)を月2日 日本語(日本語)を開い、日本語(日本語)を開い、日本語(日本語)を開い、日本語(日本語)を用い、日本語(日本語)を用い、日本語(日本語)を用い、日本語(日本語)といる。
		晴佐久 悟 <平成29年4月>			晴佐久 悟 <平成29年4月>			晴佐久 悟 〈平成29年4月〉				晴佐久 悟 <平成29年4月>
専	准教 授	基礎セジナルI 基礎セジナルI 健康と食生活 公衆衛生看護活動論Ⅲ(対象別 公衆衛生看護活動論) 口腔機能援助論	専	准教授	基礎ゼジナルI 基礎セジナルI 健康と食生活 公衆衛生看護活動論I (対象 別公衆衛生看護活動論) 口腔機能援助論	専	准教授	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 健康と食生活 公衆衛生看護活動論Ⅲ(対象別 公衆衛生看護活動論) 口腔機能援助論	1	葬	授	基礎セ、シール I 基礎セ、ジール I 基礎セ、ジール I 健康と食生活 公衆衛生看護活動論 I (対象別 公衆衛生看護活動論) 口腔機能援助論 公衆衛生学 後学 保健統計
		森中 惠子 <平成29年4月>			森中 惠子 <平成29年4月>			森中 惠子 <平成29年4月>				森中 惠子 <平成29年4月>
專	准教授	・ TRL29年9月/ ・ TRL29年9月/ ・ 水海生香種活動論 (個人・家族・リーア) 支援方法 在宅看護論、リーア) 支援方法 在宅看護海 ・ 大海・大海・大海・大海・大海・大海・大海・大海・大海・大海・大海・大海・大海・大	専	准教授	、	專	准教授	、干成294时/ 公東衛生看護活動論 1 (個人·家 族/引力/支援方法) 在 毛智龍線 《月本刊文展方法》 在 毛智龍等 《中衛生君護活動論 II (对象別公 教衛生君護語書 報經其語研究 統合君護建等實 統合者護建等實 統合者護達等實 《東衛生者護活動論 II (学校保 《東東保保·健康依據管理) 公東衛生者護活動論 II (学校保 《東東保保·健康依據管理)	3	專	准教授	《干成294·4月/ 公來衛生看護活動論 [ (個人·家 族·/ 1-7) 変換方法) 在 宅看經 協演習 公來衛生看護活動論 II (刘象別公 訪問看經論樂習 有禮經轉字。 統合看經再經字。 統合看經再經字。 統合看經序數 《東衛生看護活動論》(/学校保 《東衛生看護活動論》(/学校保 《東衛生看護活動論》(/学校保 《東衛生看護活動論》(/学校保 《東衛生看護活動論》(/学校保 《東衛生看護等學習
		梶原 江美 <平成29年4月> 看護学概論			梶原 江美 <平成29年4月> 看護学概論			梶原 江美 〈平成29年4月〉 養羅学療論				梶原 江美 <平成29年4月> 看護学概論
専	講師	有孩子祝講 有孩子祝講 日常生活场的游演習 日常生活场的游演習 日常生活场的游演習 日本我是一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一	専	講師	有孩子祝講術論演習 日常生活援助論演習 日常生活援助論演習 日/* 加水以沙灣面 日本生活援助論演習 日本接援地程 線 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国	専	准教授	看護学概論 基礎看護技術論演習 日常生活技助論演習 76 が形だ以外讀習 I 基礎看該投外演習 I 治療援過程論 感過程論 感過程論 感見中的ing care 看護過程英習 well-being care就合 考護過程英習 well-being care就合 考護經歷字實 合成 由美	1	萨	准教授	有應學根源所 自常生活技助論演習 日常生活技助論演習 日常生活技助論演習 基礎看說學実習 日治稅提過程 地方於加於政治演習 報題過程 地目上的目底。Care 地目上的目底。Care 地目上的目底。Care 就是 地目上的目底。Care 就是 都認 就是 是 本 就 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是
専	講師	本	専	講師	《平成30年4月> 《平成30年4月> 基礎看護論 精神看護論 電腦養養 養養 養養 養養 養養	専	講師	《平成30年4月》 《平成30年4月》 《李字書》 精神看護論 看護過程集習 精神看護論演書 精神看護論演案習	1	萨	ing (Pin	《平成30年4月》 《平成30年4月》 《芒字史習 精神看護論 看護論程東習 精神看護論演習 精神看護論演習
		精件有護子美省 well-being care統合 統合看護学実習			精神有護学美省 well-being care統合 統合看護学実習			精神有護子美省 well-being care統合 統合看護学実習				精神有護子美省 well-being care統合 統合看護学実習

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		末永 陽子 <平成29年4月>			末永 陽子 <平成29年4月>			末永 陽子 <平成29年4月>			末永 陽子 <平成29年4月>
專	講師	一	專	講師	・	専	講師	十元に344月7 基礎で、ナールI 基礎で、ナールI 基礎である性語ができます。 急性語が関連の使期看護論I 電性原列では一個では、 をはり、終末のでは、 をはり、終末のでは、 をはり、終末のでは、 をはいいでは、 をはいいでは、 をはいいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	専	講師	、下級、39キキカノ 基礎セ、デナル I 基礎を表現を実置 急性接別を発展を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を
		廣渡 加奈子			中村 加奈子			中村 加奈子			中村 加奈子
専	講師	《平成29年4月》 基礎で計→1 I 基礎で計→1 I 基礎で計→2 I 基礎では完全。  基礎では完全。  基礎では完全。  基礎では完全。  基礎では完全。  基礎では完全。  基礎では完全。  基礎では完全。  「中看護護学業習 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専	講師	《平成29年4月》 基礎: \$1-\$1 基礎: \$1-\$1 基礎: \$1-\$1 基礎: \$1-\$1 基礎: \$2-\$1 基礎: \$2-\$1 基礎: \$2-\$1 基礎: \$2-\$1 基礎: \$2-\$1 \$2-\$1 \$2-\$1 \$2-\$1 \$3-\$1 \$	專	講師	(平成29年4月) 基礎で ジナル I 基礎で ジナル I 基礎で ジナル I 基礎で 競響  を	専	講師	《平成29年4月》 基礎化 計·B I 基礎能 於·B I 基礎指數學與 新學學與 小児看護達美寶 小児看護達美寶 小児看護達美寶 小児看護等美寶 小児司 care 統合 統合看護学美習
		宮坂 啓子 <平成30年4月>			宮坂 啓子  <平成30年4月>			宮坂 啓子 <平成30年4月>			宮坂 啓子 <平成30年4月>
専	講師	基礎化計步和I基礎的推動性的 基礎相應性的 基礎的主要 基本的主 基本的主要 基本的主要 基本的主要 基本的主要 基本的主要 基本的主要 基本的主要 基本的主要 基本的主要 基本的主要 基本的 基本的 基本 基本 基本 基本 基本 基本 基本 基本 基本 基本 基本 基	專	講師	基礎學 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	専	講師	基礎性:計一ルI 基礎使有有關性 基礎使有有關性 基礎使有有關性 基礎使有有關性 基礎使用 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程 工程	専	講師	基礎性'計小ルI 基礎性'計小ルI 基礎性養殖性 基礎性養殖性 基準性 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準 基準
		青野 広子 <平成29年4月>			青野 広子 <平成29年4月>			青野 広子 <平成29年4月>			青野 広子 <平成29年4月>
専	助教	基礎看護学実習 看護過程実證 小児看護治実習 小児看護学実習 well-being care統合 統合看護学実習 秋永 和之	専	助教	基礎看護学実習 看護過程実實 小児看護過実習 小児看護学実習 well-being care統合 統合看護学実習 秋永 和之	専	助教	基礎看護学実習 看護過程実習 小児看護學実習 小児看護学実習 well-being care統合 統合看護学実習 秋永 和之	専	助教	基礎看護学実習 看護過程實際 小児看護学実習 小児看護学実習 well-being care統合 統合看護学実習 秋永 和之
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
専	助教	基礎看護学実習 急性期。回復期需護論 II 看護過程実習 看護過程実習 機康回復支援論演習 侵性期,經濟層護学実習 使性期,經濟層護学実習 well-being care統合 災害看護	専	助教	基礎看護学東習 急性期,回復期看護論I 看護通程東習 健康回復支援論演習 急性期,回復期看護学東習 健性期,終末期看護学東習 被性期,終末期看護学東習 被制力being care統合 災害看護 統合看護学東習	專	助教	基礎看護学実習 急性期、回復期看護論II 看護過程実習 者護過程実習 強性期、回復期預護学実習 慢性期、終末預護学実習 使性期、終末所養護学実習 well-being care統合 災害看護 災結合看護学実習	専	助教	基礎看護学実習 急性期、回復期看護論 I 看護過程実習 健康回復支援論素習 急性期、回復期看護学実習 慢性期,終末看護学実習 被目,一時间,當時所看護学実習 或目,也可以表示 或者 或者 或者 或者 或者 或者 或者 或者 或者 或者 或者 或者 或者
		寒水 章納			寒水 章納			寒水 章納			寒水 章納
専	助教	《平成29年4月》 基礎有態学実習 地域活動と社会貢献 有態過程実習 well-being care統合 統合看態学実習 公衆衛生看態学実習 公衆衛生看態学実習 の島、希美絵	専	助教	〈平成29年4月〉 基礎看護学実習 地域活動と社会貢献 看護過程実習 well-being care統合 統合看護学実習 公衆衛生看護學実習 页島 希美統	専	助教	《平成29年4月》 基礎看護学実習 地域活動と社会貢献 看護過程実習 well-being care統合 統合看護学実習 公衆衛生看護学実習 の島 希美絵	専	助教	《平成29年4月》 基礎看護学実習 地域活動と社会貢献 看護過程実習 well-being care統合 統合看護学実習 公衆衛生看護学実習 町島 希美終
專	助教		専	助教	□ 局 中央伝 <平成29年4月> 基礎看護學報 地域活動と社会電散 高齢者看護論演習 石宅名高能過程建論演習 石宅名高的高齢質学養習 中間 中間 中間 中間 中間 中間 中間 中間 中間 中間	専	請師	叫向 布美伝 《平成29年4月》 基礎看護地域的者有護論論習 著名毛高的語過程建論漢習 名名名護論過程理論漢習 名名名高的高高的音易理等 習 在宅高的高高的音易理等 習 woll-being care統合 統合 看 便東 雲 松原 便東 雲 松原 優	専	講師	
		松尾(奥村) 里香 <平成30年4月>			松尾(奥村) 里香 <平成30年4月>			松尾(奥村) 里香 <平成30年4月>			松尾(奥村) 里香
專	助教	基礎有著程據 高齡者者程據 高齡者者程建論 這一種之一 在七名演演 在七名演演 高齡子之 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	專	助教	基礎為有理 基礎為有理 基礎為有理 基礎 有數 有數 有數 有數 有數 有數 有數 有數 有數 有數	專	助教	基礎有著程接續 高齡者者程接續 這有數學 在宅有接續 在宅有數學 在宅高齡者有接字 在宅高齡者接字接字 西 部 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	専	助教	基礎有指揮字等 高齡者程度論 清整之名 在之名 有度 在之名 有度 在之名 有度 在之名 有度 論 注 音 度 論 注 音 度 論 注 音 度 論 注 音 度 論 治 者 程 定 章 者 程 之 名 表 行 表 行 表 行 表 行 表 行 表 行 表 行 表 一 表 一 表 一
		三好 麻紀 <平成29年4月>			三好 麻紀 <平成29年4月>			三好 麻紀 <平成29年4月>			三好 麻紀 <平成29年4月>
專	助教	看護学概論 基礎看護技術論演習 日常生活援助論演習 3.7分 加水以外震管 1 基礎看護学実習 地域活動と社会景献 スパ 加水以外震管 1 若療援助議習 看護過程論 well-being care 看護過程実習 well-being care統合	專	助教	看護学概論 基礎看護技術論演習 日常生活援助論演習 习分為於起外濟體 I 基礎有選字樂習 基礎看護字樂習 財政境形象比社樂觀 計會提到 基礎有過度 基礎 報目 一句的 即 個 日 一句的 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	專	講師	看護学概論 基礎看護技術論演習 日常生活援助論演習 日常生活援助論演習 John And And And And And And And And And An	專	<b>98</b> 600	看護学概論 基礎看護技術論演習 日常生活援助演習 日常生活援助演習 基礎看該学案 基礎報送学 表述 表述 表述 表述 表述 表 選別 報題 知論 解 明 記 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の
		well-being care 看護過程実習			well-being care 看護過程実習			well-being care 看護過程実習			well-being care 看護過程実習

専任・		1	専任・			専任・			専任・		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		門司 真由美			門司 真由美			門司 真由美			門司 真由美
専	助教	《平成29年4月》 名漢字概論析論演習 日常生活技物論演習 日常生活技物論演習 之が加水以外演習 基礎看護年樂習 工分類が成功。 一次的加水 一次的一次的一次的一次的一次的一次的一次的一次的一次的一次的一次的一次的一次的一	専	助教	《平成29年4月》 看護学概論析論演習 日常生活接助論演習 日常生活接助論演習 1分 約174以为漢習 I 基礎看護学樂習 I 力治數理學與 1分 約174以为漢習 I 基礎報過程 線目十色日間。 Gare 報題程 線目十色目成 Gare 報目十色目成 Gare 統令看護學樂習	專	講師	《平成29年4月》 名談学概論析論演習 日常生活接助論演習 17分 加水比外演習 I 基礎看談學実習 1分數 17分 加水比外演習 I 治療援助論演習 看號過程論 線則 11 少回 1 「原 2 回 不 報酬 1 「	專	講師	《平成29年4月》 看護学概論析論演習 日常生活技助論演習 日常生活技助論演習 月常生活技助論演習 五碳看態學実習 可力が加水以外演習 I 五碳看態學実習 可力が加水以外演習 I 五碳看態學與習 可 力力 が加水 が加水 が加水 が加水 が加水 が加水 が加水 が加水
		吉田 理恵			吉田 理恵			吉田 理恵			吉田 理恵
専	助教	《平成29年4月》 基礎: 5十月 I 基礎: 5十月 I 基礎增養學素質 看護與學素質 看護與與多性期,經濟學素質 是性期,經濟學數學,與例有護學學實 口腔機能援助論,可以與例實護學奏習 口腔機能援助論,可以與例實護學奏習 以同性則一時間,每個中的 就合看護學奏習	専	助教	〈平成29年4月〉 基礎でジナルI 基礎でジナル工 基礎で製造業 基礎を製造業 最後期間 急性期 適性期 適性期 等 で の 度 り り 時 で の で が 付 者 後 り で が 者 後 り で が 者 後 で が 者 後 で が 者 後 で が 者 後 で が 者 後 で が 者 後 で が 者 後 で が 者 後 で が 者 後 で が る で が る で が る で が る で が る で が る で が る で が る で が る で が る で が る で が る で が る で が り で が る で が り で が り で が り で が り で が り で が り で が り で が り で が り で が り で が り で が り で が り で が り で が </td <td>専</td> <td>助教</td> <td>《平成29年4月》 基礎: *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *</td> <td>專</td> <td>助教</td> <td>〈平成29年4月〉 基礎*:&gt;ナル I 基礎*:ナル I 基礎者接受決署 看護政智報要支援論清匯 急性期。回復期網看護学実習 役性期。終末別看護学実習 以上時期。 日 D E 機能援助論 取1一秒間。 区 4 場別者 成十分 の2 日本 の3 日本 の4 日本</td>	専	助教	《平成29年4月》 基礎: *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	專	助教	〈平成29年4月〉 基礎*:>ナル I 基礎*:ナル I 基礎者接受決署 看護政智報要支援論清匯 急性期。回復期網看護学実習 役性期。終末別看護学実習 以上時期。 日 D E 機能援助論 取1一秒間。 区 4 場別者 成十分 の2 日本 の3 日本 の4 日本
		荒木 正見			荒木 正見			荒木 正見			荒木 正見
兼任	講師	<平成29年9月> 他者理解と人間関係の形成 個人・集団の心理と行動	兼任	講師	<平成29年9月> 他者理解と人間関係の形成 個人・集団の心理と行動	兼任	講師	<平成29年9月> 他者理解と人間関係の形成 個人・集団の心理と行動	兼任	講師	<平成29年9月> 他者理解と人間関係の形成 個人・集団の心理と行動
		池邉 哲郎			池邉 哲郎			池邉 哲郎			池邉 哲郎
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>
		病態疾病論IV 石原 礼子			病態疾病論IV 石原 礼子	<b> </b>		病態疾病論Ⅳ			病態疾病論Ⅳ
兼任	護師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>						
71111111	nia min	社会経済と医療福祉	71111111	man.	社会経済と医療福祉						
								塚崎 惠子			塚崎 惠子
						兼任	講師	<平成30年9月>	兼任	講師	<平成30年9月>
								社会経済と医療福祉			社会経済と医療福祉
		井上 敏生			井上 敏生			井上 敏生			井上 敏生
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>
		病態疾病論 II 上野 道雄			病態疾病論 II 上野 道雄	<b> </b>		病態疾病論 II 上野 道雄			病態疾病論 Ⅱ 上野 道雄
the for	-#AT	工町 垣框 <平成32年4月>	20.17	÷# AT	工野 道艇 <平成32年4月>	201	=# AT	工野 追継 <平成32年4月>	34 PT	-#AT	→ 五野 · 追離 <令和2年4月>
兼任	講師	包括的情報システム論	兼任	講師	包括的情報システム論	兼任	講師	包括的情報システム論	兼任	講師	包括的情報システム論
		大星 博明			大星 博明	1 -		大星 博明	-		大星 博明
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
		ライフサイクルと成長発達 病態疾病論 I 病態疾病論 II			ライフサイクルと成長発達 病態疾病論 I 病態疾病論 I			ライフサイクルと成長発達 病態疾病論 I 病態疾病論 I			病態疾病論 I 病態疾病論 II
		病態疾病論 II 尾崎 正雄			病態疾病論 II 尾崎 正雄	1		病態疾病論Ⅱ 尾崎 正雄			尾崎 正雄
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任		<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
		健康と食生活 病態疾病論IV			健康と食生活 病態疾病論IV			健康と食生活 病態疾病論Ⅳ			健康と食生活 病態疾病論IV
		岡村 和彦			岡村 和彦			岡村 和彦			岡村 和彦
兼任	講師	<平成29年9月> 病態疾病論 I	兼任	講師	<平成29年9月> 病態疾病論 I	兼任	講師	<平成29年9月> 病態疾病論 I	兼任	講師	<平成29年9月> 病態疾病論 I
		岡本 富士雄			岡本 富士雄	1 —		岡本 富士雄	-		岡本 富士雄
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	∠ III #00/E4 E >
eus lab	urz Pili	形態機能学(生理 I) 形態機能学(生理 II)	All lake		形態機能学(生理 I) 形態機能学(生理 II)	No.		形態機能学(生理 I) 形態機能学(生理 I)	N.I.	ur y Prof	形態機能学(生理 I) 形態機能学(生理 I)
		金光 芳郎			金光 芳郎	1		金光 芳郎			金光 芳郎
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任		<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	
		病態疾病論Ⅳ			病態疾病論Ⅳ	<b> </b>		病態疾病論Ⅳ			病態疾病論Ⅳ
gain r	-p-4-	川野 庸一 <平成30年4月>		z# 4-	川野 庸一 <平成30年4月>		E#4-	川野 庸一 <平成30年4月>		=#/-	川野 庸一  <平成30年4月>
兼任	講師	大十成30年4月ノ 病態疾病論Ⅲ	兼任	講師	病態疾病論Ⅲ	兼任	講師	病態疾病論Ⅲ	兼任	講師	病態疾病論Ⅲ
Н		寒水 康雄			寒水 康雄	H		寒水 康雄			寒水 康雄
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>
		病態疾病論 I			病態疾病論 I			病態疾病論 I			病態疾病論 I
		北河 憲雄			北河 憲雄			北河 憲雄			北河 憲雄
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>
		形態機能学演習 小島 寛			形態機能学演習 小島 寛	<b> </b>		形態機能学演習 小島 寛			形態機能学演習 小島 寛
20.70	ap 4-	小島 見 <平成29年4月>	dd: Are	z# 4-	小島 見 <平成29年4月>			小島 見 <平成29年4月>	20.00	=#/-	小島 見 <平成29年4月>
兼任	講師	健康と食生活	兼任	講師	健康と食生活	兼任	講師	健康と食生活	兼任	講師	健康と食生活
		児玉 淳	-		児玉 淳	<del>   </del>		児玉 淳	l		児玉 淳
兼任	誰のエ	<平成29年4月>	兼任	## 6 T	<平成29年4月>	兼任	意集を下	<平成29年4月>	兼任	主集を工	<平成29年4月>
水辻	講師	情報リテラシー	末柱	講師	情報リテラシー	北江	講師	情報リテラシー 形態機能学(解剖 I ) 形態機能学演習	常性	講師	沙耶侯能子 (所刊 1 )   彩館機能学 (解剖 11 )
			$\vdash$			<del>   </del>		形態機能学演習	<del>  -  </del>		形態機能学演習 内田 竜二
		<u> </u>							兼任	講師	c m = hot by a m >
									Park lake		情報リテラシー
					<u> </u>		·	l	·		<u> </u>

W.F			W /2			W.F.			W /2		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 酒井 健太朗			担当授業科目名 酒井 健太朗			担当授業科目名 酒井 健太朗			担当授業科目名
*/*	-# AT	<平成29年4月>	*/*	=# AT	<平成29年4月>	*/*	=#AT	<平成29年4月>			
兼任	講師	日本語表現法 (伝達表現) 論理的思考法	兼任	講師	日本語表現法 (伝達表現) 論理的思考法	兼任	講師	日本語表現法 (伝達表現) 論理的思考法			
		an a				-					満井 環城
									兼任	講師	<平成31年4月>
											日本語表現法 (伝達表現) 論理的思考法
		坂上 竜資			坂上 竜資			坂上 竜資			坂上 竜資
兼任	講師	<平成30年4月> 病態疾病論Ⅳ	兼任	講師	<平成30年4月> 病態疾病論IV	兼任	講師	<平成30年4月> 病態疾病論Ⅳ	兼任	講師	<平成30年4月> 病態疾病論Ⅳ
		佐藤 敦子			佐藤 敦子			佐藤 敦子			77 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>			
		形態機能学(解剖Ⅱ)			形態機能学(解剖Ⅱ)			形態機能学(解剖Ⅱ)			
		佐藤 博信			佐藤 博信			佐藤 博信			佐藤 博信
兼任	講師	<平成30年4月> 病態疾病論Ⅳ	兼任	講師	<平成30年4月> 病態疾病論Ⅳ	兼任	講師	<平成30年4月> 病態疾病論Ⅳ	兼任	講師	<平成30年4月> 病態疾病論Ⅳ
		沢 禎彦			TP3 IEA IAA IP3 UNU A*	-		/F3 (EA //~ /F3 title A*	-		173 125 175 173 unu 5 *
兼任	講師	<平成29年9月>									
		形態機能学演習									
					稲井 哲一朗			相井 哲一朗			稲井 哲一朗
			兼任	講師	<平成29年9月> 形態機能学演習	兼任	講師	<平成29年9月> 形態機能学演習	兼任	講師	<平成29年9月> 形態機能学演習
			-		大谷 崇仁			大谷 樂仁			大谷 崇仁
			兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>
					形態機能学演習			形態機能學演習			形態機能学演習
		篠原 徹雄			篠原 徹雄			篠原 徹雄			
兼任	講師	<平成29年9月> 病態疾病論Ⅱ	兼任	講師	<平成29年9月> 病態疾病論Ⅱ	兼任	講師	<平成29年9月> 病態疾病論Ⅱ			
		病態疾病論Ⅲ			病態疾病論Ⅲ	-		病態疾病論Ⅲ			池田 哲夫
									兼任	講師	〈平成31年9月〉
									AK 122		病態疾病論 II 病態疾病論 II
		高瀬 文広			高瀬 文広						
兼任	講師	<平成29年4月> 英語コミュニケーション I	兼任	講師	<平成29年4月> 英語コミュニケーション I						
		英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅢ			英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ						
								池田 豊子			池田豊子
						兼任	講師	<平成30年4月> 英語3ミュケーション I	兼任	講師	<平成30年4月> 英語コミュニケーション I
								英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション II			英語コミュニケーション II クインプ・ライアン・トーマス
									兼任	計師	(66) 〈平成31年4月〉
									***	Did toh	英語コミュニケーション皿
		田北 雅裕			田北 雅裕			田北 雅裕			田北 雅裕
兼任	講師	<平成29年4月> 福祉とデザイン	兼任	講師	<平成29年4月> 福祉とデザイン	兼任	講師	<平成29年4月> 福祉とデザイン	兼任	講師	<平成29年4月> 福祉とデザイン
		まちづくり概論 知念 正剛			まちづくり概論			まちづくり概論			まちづくり概論
	-p-4-	知念 止削 <平成29年4月>									
兼任	講師	情報リテラシー 看護教育のための物理学									
		有成状月のための物理子			井上 勇介			井上 勇介			井上 勇介
			兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>
					情報リテラシー			情報リテラシー			情報リテラシー
					松家 茂樹 <平成29年4月>						
			兼任	講師	マー成28年4月ン 看護教育のための物理学						
								都留 寛治			都留 寛治
						兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>
								看護教育のための物理学			看護教育のための物理学
		長 環			長環			長環			長環
兼任	講師	<平成30年4月> 感染免疫学	兼任	講師	<平成30年4月> 感染免疫学	兼任	講師	<平成30年4月> 感染免疫学	兼任	講師	<平成30年4月> 感染免疫学
		整架兒投字 寺岡 佐和	-		- 特岡 佐和	<del> </del>		懸樂兒疫子 寺岡 佐和			懸架兒投字 寺岡 佐和
		マー	1		<平成32年4月>			マー はれ マー			今向 在和 <令和2年4月>
兼任	講師	公衆衛生看護活動論Ⅳ(学校保	兼任	講師	公衆衛生看護活動論Ⅳ(学校 保健·産業保健・健康危機管	兼任	講師	公衆衛生看護活動論Ⅳ(学校保	兼任	講師	公衆衛生看護活動論Ⅳ(学校保
		健・産業保健・健康危機管理) 徳本 正憲	<u> </u>		理) 徳本 正憲			健・産業保健・健康危機管理) 徳本 正憲	-		健·産業保健・健康危機管理) 徳本 正憲
兼任	講師	(學本 止憲 <平成29年9月>	兼任	講師	《平成29年9月》	兼任	講師	(※本 止憲 <平成29年9月>	兼任	護師	(恐本 止憲 <平成29年9月>
#性	海師	病態疾病論Ⅱ	米仕	<b>西</b> 西 西 市	病態疾病論Ⅱ	米仕	高年的	病態疾病論Ⅱ	米仕	高新師	病態疾病論Ⅱ
$\vdash$		内藤 徹	$\vdash$		内藤 徹			内藤 徹	-		内藤 徹
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	業を	<平成29年4月> 健康と食生活	兼任	講師	<平成29年4月> 健康と食生活
末世	ō 再 6 印	健康と食生活 病態疾病論Ⅳ 口腔健康科学論	±1/ak	<b>西</b> 西印	健康と食生活 病態疾病論IV 口腔健康科学論	#II	6年6印	健康と食生活 病態疾病論Ⅳ 口腔健康科学論	#1±	高等師	健康と食生活 病態疾病論Ⅳ 口腔健康科学論
		口腔機能援助論			口腔機能援助論	<u> </u>		口腔機能援助論		<u> </u>	口腔機能援助論

W /*			W 77			W.F			W 74		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 中島 與志行			担当授業科目名 中島 與志行			担当授業科目名 中島 與志行	_		担当授業科目名 中島 與志行
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	灌師	<平成29年4月>	兼	F 議師	<平成29年4月>
N/II	DI-S HIVE	ライフサイクルと成長発達 病態疾病論Ⅳ	AKIL	DI-S HITP	ライフサイクルと成長発達 病態疾病論Ⅳ	XI.	DIS HIT	ライフサイクルと成長発達 病態疾病論IV	N.	r. Distrib	ライフサイクルと成長発達 病態疾病論Ⅳ
		中園 栄里			中園 栄里			中園 栄里			中園 栄里
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼	E 講師	<平成29年4月>
		健康と食生活 永嶋 哲也			健康と食生活 永嶋 哲也			健康と食生活 永嶋 哲也			健康と食生活 永嶋 哲也
26 /-	***	水鳴 百也 〈平成29年4月〉	26 /-	****	<平成29年4月>	the fee	5#AT	<平成29年4月>	-		· 不明 · 百也 · · · · · · · · · · · · · · · · ·
兼任	講師	自己管理と社会規範 自己形成と職業倫理	兼任	講師	自己管理と社会規範 自己形成と職業倫理	兼任	講師	自己管理と社会規範 自己形成と職業倫理	兼	E 講師	自己管理と社会規範 自己形成と職業倫理
		橋口 一成			橋口一成			橋口一成	-		橋口 一成
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼	E 講師	<平成30年4月>
		栄養・代謝機能(生化学)			栄養・代謝機能 (生化学)			栄養・代謝機能(生化学)			栄養・代謝機能(生化学)
		橋本 修一 <平成29年9月>			橋本 修一 <平成29年9月>			橋本 修一 <平成29年9月>			橋本 修一 <平成29年9月>
兼任	講師	病態疾病論 [	兼任	講師	病態疾病論 I	兼任	講師	病態疾病論 I	兼	E 講師	病態疾病論Ⅰ
		畠山 雄次			畠山 雄次			畠山 雄次	-		畠山 雄次
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼	E 講師	<平成29年9月>
N/II	아는 다니	形態機能学演習	NIT.	DI-P DIII	形態機能学演習	XI.I.	DIS DIT	形態機能学演習 <b>形態機能学(解剖I)</b>	N.	r. Despit	形態機能学演習 形態機能学(解剖 I)
		埴岡 隆	-		埴岡 隆			埴岡 隆	-	_	形態機能学(解剖Ⅱ) 埴岡 隆
兼任	講師	<平成30年9月>	兼任	講師	<平成30年9月>	兼任	講師	<平成30年9月>	兼	E 講師	<平成30年9月>
		疫学 保健統計			疫学 保健統計			疫学 保健統計			疫学
		早川 浩			早川 浩						
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月> 看護教育のための生物学・化						
		看護教育のための生物学・化学			学			石井 健士	_		石井 健士
						養任	鉄師	<平成30年4月>	兼	E 講師	<平成30年4月>
						***	MAIN	看護教育のための生物学・化学	-		看護教育のための生物学・化学
		林 道夫			林 道夫			林 道夫			林 道夫
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼	E 講師	<平成30年4月>
		栄養・代謝機能 (生化学)   			栄養・代謝機能(生化学) 			栄養・代謝機能(生化学) 桧垣 伸次	-		栄養・代謝機能(生化学) 
*/*	=# AT	≪平成30年4月>	* / T	=#t AT	<平成30年4月>	*/*	-#AT	<平成30年4月>	**	r =#AT	< 平成30年4月>
兼任	講師	社会制度と法律	兼任	講師	社会制度と法律	兼任	講師	社会制度と法律	兼	E 講師	社会制度と法律
		廣藤 卓雄			廣藤 卓雄			廣藤 卓雄			廣藤 卓雄
兼任	講師	<平成32年4月>	兼任	講師	<平成32年4月>	兼任	講師	<平成32年4月>	兼	E 講師	<令和2年4月>
		災害看護			災害看護			災害看護			災害看護
		藤兼 亮輔 <平成29年4月>			藤兼 売輔 <平成29年4月>	***		藤兼 売輔 <平成29年4月>		_	藤兼 亮輔 <平成29年4月>
兼任	講師	看護教育のための生物学・化学	兼任	講師	看護教育のための生物学・化 学	兼任	講師	看護教育のための生物学・化学	兼	E 講師	看護教育のための生物学・化学
		藤田 恭之	-		藤田恭之	-			-		
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>						
		病態疾病論Ⅲ			病態疾病論Ⅲ						
								日高 唐博			日高 唐博
						兼任	講師	《平成30年4月》 病態疾病論Ⅲ	兼	E 講師	<平成30年4月> 病態疾病論Ⅲ
		古村 南夫	-		古村 南夫	-		古村 南夫	-		古村 南夫
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼	E 講師	<平成30年4月>
		病態疾病論Ⅲ			病態疾病論Ⅲ			病態疾病論Ⅲ			病態疾病論Ⅲ
		堀部 晴美			堀部 晴美			堀部 晴美			堀部 晴美
兼任	講師	<平成30年9月> 口腔健康科学論	兼任	講師	<平成30年9月> 口腔健康科学論	兼任	講師	<平成30年9月> 口腔健康科学論	兼	E 講師	<平成30年9月> 口腔健康科学論
		町田 弘幸			町田 弘幸			町田 弘幸	-		町田 弘幸
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼	E 講師	<平成29年4月>
		健康科学 コミュニケーショントレーニング			健康科学 コミュニケーショントレーニング			健康科学 コミュニケーショントレーニング			健康科学 コミュニケーショントレーニング
		松尾 忠行			松尾 忠行			松尾 忠行			松尾 忠行
兼任	講師	<平成30年4月> 公衆衛生学	兼任	講師	<平成30年4月> 公衆衛生学	兼任	講師	<平成30年4月> 公衆衛生学	兼	E 講師	<平成30年4月> 公衆衛生学
		保健統計 壬生 正博	-		保健統計 壬生 正博			保健統計 壬生 正博	$\vdash$	1	保健統計 壬生 正博
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼任	講師	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	兼任	講師	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	兼任	講師	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	兼	E 講師	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
		英語コミュニケーションⅢ 民族・宗教と世界の歴史			英語コミュニケーションⅢ 民族・宗教と世界の歴史			英語コミュニケーションⅢ 民族・宗教と世界の歴史			英語コミュニケーションⅢ 民族・宗教と世界の歴史
		八尋 純子			八尋 純子						
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>						
		形態機能学(解剖 I ) 山口 優実			形態機能学(解剖 I) 山口 優実					-	
兼任	## px	四口 優美 <平成30年9月>	兼任	講師	□□ 1使美 <平成30年9月>						
北北	講師	口腔健康科学論	水吐	<b>西</b> 西印	口腔健康科学論						
			<u> </u>			<u> </u>			_		1

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任 (予定) 年月 > 保有学位等  担当授業科目名	専作 兼打 兼付 の 5	≞· £	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	兼	任· 担· 任 別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担ヨ技業符目有			担ヨ技未符日右	l H	4		担当技業科目名	F			担当技業付ける
						*	任	講師	<平成30年9月>	3	終任	講師	<平成30年9月>
									口腔健康科学論				口腔健康科学論
		山野 貴史			山野 貴史		T		山野 貴史				山野 貴史
兼任	護師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	36	任	講師	<平成29年4月>	2	兼任	護師	<平成29年4月>
** 1		健康と食生活 病態疾病論IV	ЖII		健康と食生活 病態疾病論IV	AK	.11		健康と食生活 病態疾病論IV	1	K II		健康と食生活 病態疾病論IV
		湯浅 賢治			湯浅 賢治		T		湯浅 賢治				湯浅 賢治
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	- 44	任	講師	<平成30年4月>	,	兼任	講師	<平成30年4月>
** 1		病態疾病論Ⅳ	ЖII	아무 하기	病態疾病論IV	AK	.11		病態疾病論Ⅳ	1	K II		病態疾病論IV
		吉村 久美子			吉村 久美子		T		吉村 久美子				吉村 久美子
兼任	護師	<平成30年9月>	兼任	講師	<平成30年9月>	35	任	講師	<平成30年9月>	3	兼任	護師	<平成30年9月>
N II		口腔健康科学論	NIT.	DIES DIES	口腔健康科学論	AN.	. 1.1.		口腔健康科学論	1	K III	DIES DIE	口腔健康科学論
							_			L			
		渡辺 猛			渡辺 猛				渡辺 猛				渡辺 猛
兼任	講師	<平成30年9月>	兼任	講師	<平成30年9月>	兼	任	講師	<平成30年9月>	3	兼任	講師	<平成30年9月>
		保健医療福祉行政論 保健統計			保健医療福祉行政論 保健統計				保健医療福祉行政論 保健統計	L			保健医療福祉行政論 保健統計

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 「認可時又は届出時か」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
  その上で、**医可能又は風田時から変更となっている自所は大学の表生としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の演年験**たしてください。
  ・ 専任、「専門職大学等は事、実事、実、例)、実争)、兼担、兼任の順に記入してください。
  ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

#### 【平成29年度】

```
・廣渡講師結婚のため、姓の変更。 (廣渡→中村)
・沢兼任講師就任辞退により、「形態機能学演習」について稲井兼任講師に変更及び大谷兼任講師を追加。
・知念兼任講師就任辞退により、「情報リテラシー」について井上兼任講師、「看護教育のための物理学」について松家兼任講師に変更。
```

#### 【平成30年度】

【半成30年度】

・平成30年1月AC教員審査の結果、6名の教員が職位適格の判定を受け、平成30年4月1日より青木准教授→教授、中島准教授→教授、梶原講師→准教授、町島助教→講師、三好助教→講師、門司助教→講師へ昇任。「平成30年1月教員審査済」

・「成人看護学概論」の科目について、村田兼任講師は平成30年度から専任教授就任のため、兼任から専任へ変更。

・早川兼任講師就任辞退により、石井兼任講師に変更。

・松家兼任講師就任辞退により、福田兼任講師に変更。

・高瀬兼任講師就任辞退により、地田兼任講師に変更。

・高瀬兼任講師就任辞退により、地田兼任講師に変更。

・藤田兼任講師就任辞退により、日高兼任講師に変更。

・山口兼任講師就任辞退により、日高兼任講師に変更。

・山口兼任講師就任辞退により、日高兼任講師に変更。

・八尋兼任講師就任辞退により、島山兼任講師の変で記載任護師に変更。

・八尋兼任講師就任辞退により、島山兼任講師及び児玉兼任講師に変更。

・八尋兼任講師就任辞退により、島山兼任講師及び児玉兼任講師に変更。

・八尋兼任講師就任辞退により、児玉兼任講師に変更。

- 【令和元年度】
- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 ・ **窓可で設置された学部等の享任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに享任教員として授業等を担当することは出来ません。** 
  - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

#### (2) -② 専任教員数【大学】

	Ē	2置時の計画	Đ			現在	(報告時) 0	D状況	
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	6	5	8	30	13	5	7	5	30
(9)	(4)	(3)	(7)	(23)					
Ĩ	見在(報告日	寺)の完成年	∓度時の状況	兄	3	現在 (報告問	詩)の完成年	F度時の計画	画
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)
13	5	7	5	30	13	5	7	5	30
[ 2]	[ Δ1 ]	[ 2]	[ △3 ]	[ 0 ]	[ 2]	[ Δ1 ]	[ 2]	[ △3 ]	[ 0 ]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、教員審査を受審済みであり、
  - 完成**年度までに放任する教員教を加えた教を配入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)

#### (2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	5
歳	名	名

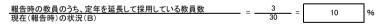
- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

  [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

#### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	BON!	担当予定科目	1	後任	補充状	況	京	优任辞证	人人	就任)の理	曲	
		該当し		該当なし											該当	なし		
				合計	(D)							往	    後任補充状況の集計(E)					
	京	た 任る	を辞	退した教員数	担当科	目数の合詞	† (a) ·	+ (b) + (c)	(1	の合計	数(a	)	②の合計	数(b)	)	③の合計	数(c	:)
					必	修	0	科目	Ú	必修	0	科目	<u> </u>				科目	
					選	択	0	科目	ì	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		該当	な	L A	自	由	0	科目	Щ	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					Ī	it	0	科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

    - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員」	氏名	時期	必修・選択・自日	nom :	担当予定科目	後日	E補充状	況		話	¥任等	の理由			
	該当なし	該当な	L										該当	なし			
			合計	(F)						往	<b>後任補充状況</b>	の集計	(G)	)			
	辞任	した教員数		担当科目	目数の合詞	† (a) +	+ (b) + (c)	①の合詞	計数(a	1)	②の合計	†数(b)	)	③の合語	十数	(c)	
				必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	•	0	科目
				選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択		0	科目
	該当な	L	人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	1	0	科目
				Ē	+	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計		0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D	) + (F)				í	发任補	<b>前充状況の集</b>	計(E	) +	(G)		
辞任等した教員	数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)	)	②の合計	数(b	)	③の合計	├数 (c	)
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
=+ 1/2 +- 1		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
該当なし	Α	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

#### (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) = \_\_\_\_ %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

#### (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
	該当なし	該当なし								- - -	核当な	L		
	1	Í	<u> </u>   計					後任補充状況の集計						
	辞任	した教員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	数 (a)		②の合計	】数(b)	)	③の合計	数(c	)
			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	該当な	し 人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
認 可 時 (29年)	・設置の趣いでは、 ・設置の趣いでは、 をなるとは、 をはいました。 をまれて、 をまれて、 をまれて、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	留意事項	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	履行済	
認 (29年)	・「身看がバだ該か専専の目い追る生業部さら「追の該段あめはおの年疾がこに護たよる業こ教口の護明スが内か門門講に。加と看内分れず健加こ目階る、再、科、患明とよ学科りと内と育腔健実確を、容わ基分義はまし、護容でて、康さと的的かシ度「目口のらもり」目つ思容。のを康践に改実をら礎野科追たた例学のはいそ相れかをな不う見専に腔原か学、にになわののを康践に改実をら礎野科追たた例学のはいそ相れかをな不う見専に腔原か学、にになわのでとがのよと目し前の礎びれ該バ「」康をも段部な学しがでにこ礎て菌なっせ康付るものにでとがのよと目し前の礎びれ該バ「」康をも段部な学しがでにこ礎で菌なっせ康付るものにあい可育うのにた段科看演て内ス公で教追か階分い生た可あつと分、がるてる支け実ので努あし可育うのにた段科看演で内ス公で教追か階分い生た可あっと分、がるてる支け実ので努めしがでにこびであって、からない。野近慢にきこ援ら践と、めるた能成シこはに階目護習い容を衆は育加かので。が上能るい。野近慢こきこ援ら践と、めるた能成シこはに階目護習い容を衆は育加かので。が上にない、野近慢にきこ援ら践と、めるた能成シこはに階目護習い容を衆は育加かので。が上をいる、対しないといる。	留意事項	「健能育育切しし康生摂を記機の化内専論口法クセ「つする全て科にである。身は目教調でまた、のでは、一人の内の「大きな、といって、一人の内の「大きな、といって、一人の内の「大きな、といって、一人の内の「大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、	履行済	

設置計画履行状 況 調査時 (30年)	・同一設部等保健保証を受けるのでは、では、おいずでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	改善意見	・い入滅分と度関すま幅保生対学者で入 ・短集のの ・ い入滅分と度関すまにしている。	履行済	・い入入を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を
------------------------------	--	------	--	-----	--

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

### 7 その他全般的事項

#### 〈看護学部 看護学科〉

#### (1) 設置計画変更事項等

	設 置 時	の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし			

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
  - a 委員会の設置状況 福岡看護大学FD委員会
  - b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 年数回程度開催し、学部長、学生部長、部門長、学長が指名する教員からなり、原則委員全員が毎回出席 している。(平成30年度 6回開催)
  - c 委員会の審議事項等
    - (1) FD研修会計画について
    - (2) 学生による授業評価について
    - (3) FD実施前後の評価について
    - (4) 学生実態調査について
- ② 実施状況
  - a 実施内容
    - 新採用教員研修会
    - 看護師国家試験対策研修
    - ・ 管理職等を対象とした 「ハラスメント研修会」
    - ・ 科研費取得を目指した申請書の書き方のコツ
    - ・ 現在の授業展開・教材活用について
    - ・ 臨地実習でのSNS投稿関連問題に対するこれまでの取組と事案の検証・今後の対策について
    - ・ ディプロマポリシーを踏まえて、講義・演習・臨床実習の連動性と実習計画の検討
    - ・ 学部教育の全体像を把握し、教育の連動性を考える
  - b 実施方法
    - ・ 授業改善のための学生の授業評価アンケート
    - 教員研修会
    - ・ 全教職員参加のスタッフ会議及びメールにて研修会等の案内を行い、原則全員参加

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
  - 新採用教員研修会(29年度 4/3、30年度 4/2、31年度 4/1 新採用教員【助手】全員参加)
  - 看護師国家試験対策研修 (4/26 36名)
  - 管理職等を対象とした 「ハラスメント研修会」 [グループ校 F D 委員会共催] (6/21 22名)
  - ・ 科研費取得を目指した申請書の書き方のコツ (7/9) [グループ校 F D 委員会共催] (本学 39名)
  - ・ 現在の授業展開・教材活用の報告と検討(11/29 38名)
  - ・ 臨地実習でのSNS投稿関連問題に対するこれまでの取組と事案の検証・今後の対策について (12/27 39名)
  - ・ ディプロマポリシーを踏まえて、講義・演習・臨床実習の連動性と実習計画の検討(2/13 38名)

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・教員のFD研修への出席率は高く、教育スタッフではいずれのFD研修でも90%以上である。 そのため、開学2年目の状況でも、在籍教員の教育の向上・改善に対する意欲は高い状態と考える。
- ・本学の教育理念の意図・ディプロマポリシーの内容を、より反映する授業へ改善するために、 看護学部で組織的に、演習・実習のシラバス第三者評価体制を構築・実施し、シラバスの改善を図り そのシラバスにそって授業が進むような体制作りを行った。

#### <講義・演習>

- ・学習に対する主体的姿勢や意志力・コミュニケーション力などの社会的スキルに不安な学生に対して、基礎ゼミナールの講義・演習やチューター教員の面接指導を中心に、学士力・社会人基礎力の向上、授業内容を理解するための支援、自宅学習の方法の改善に対する指導等を行ってきた。 その成果は、学内演習・臨地実習での学生の言動・評価から、コンピテンシー能力や看護の問題解決型思考力が向上していることを確認している。
- ・学生による授業評価結果に基づき、リフレクションペーパーの有効的な活用や、国家試験を意識した 授業内容の充実について、これまで同様に継続していく。国家試験対策については、委員会メンバーを 増員し、3学年に対して、学年進行に応じた対策を実施している。
- ・学生の評価方法として、ディプロマポリシー (DP) と連動させた評価方法、とくに、学内演習や臨地実習評価方法としてルーブリック評価法について、FD研修を中心に学習して改善を進める予定である。

#### <臨地実習>

- ・平成30年度と同様に、平成31年度も全臨地実習施設の臨床実習教育の責任者を招き、本学の教育理念に基づく 臨地実習での教育の展開とその教育環境の準備に支援を得られるように「実習協議会」を開催し、 協調的な実習指導体制作りに継続的に取組んでいる。
- ・本学の理念に基づき、口腔から全身への健康支援を行うために、本学教員の多くが執筆する口腔ケア書籍を 完成させ、それを書籍を基本に、学内演習、臨地実習等で、広く口腔ケアが提供できるように教育する。

#### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
  - ・ 前期と後期の全開講科目について、最終講義日に実施。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
  - ・ 平成30年度授業評価アンケート集計結果を教員へフィードバックを行い、授業改善報告書を提出してもらう。
  - ・ 平成29年度「学生による授業評価」報告書を大学のホームページに掲載した。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

	导门瞰起期入学、	専門職大学院以外は「該当なし」と	心で入りたるい。
該当なし			

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、学則第2条に基づき、教育研究水準の向上に資するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら 点検及び評価を行うこととしている。開学と同時に、福岡看護大学自己点検・評価委員会規則を制定し、大学長を委員 長としてその他役職教員7名及び事務職員2名の委員をもって委員会を組織した。平成31年5月1日現在まで6回の自己 点検評価委員会が開催された。

本学の教育理念は、「一人ひとりの尊厳を保ち、その人らしい最適な暮らし(well-being)支える看護専門職を育成する」点にあり、特徴は「看護の対象者が、その人らしく暮らせるよう、これからの健康社会づくりに向けて、"在宅看 護"や"口腔から全身への健康支援"を教授し、チーム医療で活躍できる看護実践能力を身に付けるように支援する」点で ある。この教育理念と特徴を生かした教育を実現させるために、教員組織、カリキュラム、教育支援関連の各システム が機能し、その趣旨が十分活かされるように、整備を進めてきた。

大学の教育研究活動、組織の運営は、看護学部の構成員の主体的・組織的・倫理的な取り組みによって成果をあげる ことができる。本学の教育理念を実現するために、その資質を備えた教員組織の充実が必要となる。本学部は、3部門9分野の組織で構成しており、平成30年度に予定通りに7名の教員が就任し、1年間フルメンバーで学部運営・教育研究を行った。助教以上の教員数は30名だが、開学後から平成31年4月現在まで退職者はなく運営できている。

平成30年度は、本学の理念であるwell-beingに関して、また、口腔医学を取り入れた看護における口腔ケアに関して 重点を置き、教育・研究の充実化を目指して全教員が取り組んでいる。全看護領域の演習・臨地実習において、口腔ケ 宝点と置き、教育 明光の光楽化と日間とく宝教員が取り組んといる。宝有設度域の演音 励心楽音において、日歴アアをおろそかにしない看護アセスメントからケアについて教育している。そうした教育実績をもとに、令和2年2月の発刊を目指して、看護大学教員の総力をあげて書籍「看護で教える最新口腔ケア」の執筆を行っている。

「カリキュラムポリシーに基づく教育の実施」 本学は、学士力の基盤となる「基礎分野」、医療関連職種として必要な知識を修得する「専門基礎分野」、看護専門 職として必要な基礎的実践能力を修得する「専門分野」の3つの科目区分により教育課程を編成している。特に「専門分野」の3つの科目区分により教育課程を編成している。 野」では、4年間の学修期間を通して、講義から演習、演習から実習へと発展させるための体系的な授業科目を配置している。基礎ゼミナールと少人数制のチューター制度によって、1年次から学士力の向上を目指した教育に努めている。また、新設大学として開学したため、上級学年が存在せず、就職実績も無い状態である。そのため、キャリア開発支 援の教育として1年次から「看護の仕事第1弾〜第6弾」の講演を通して、多様な職場で勤務する看護師・保健師のキャ リアとキャリア開発について理解するキャリア教育を定期的に実施した。受講学生から「今までイメージできなかった

本大学の教育施設としては、福岡看護大学校舎 (6,397.09㎡) を中心に行っている。大学開設時から講義室 (4室) 間仕切り可能な大実習室(2室)、情報処理実習室(1室)、セミナー室(8室)で教育している。また、メインとなる講 義室に天吊りモニター各二台を設置し、学生の映像教材の視認性向上を図った。

情報図書館にはグループ学習室(4室)を備えており、加えて和・英論文のダウンロードが可能な大手データベース、 CINAHL(シナール)やメディカルオンライン等の文献データベースの契約を含め、図書・学内設備についても計画通り 順調に整備を進めている。

- ② 自己点検·評価報告書
  - a 公表(予定)時期
    - •令和元年8月末 公表予定
  - b 公表方法
    - ・大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・2022年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中

看護の仕事を知ることができて、進路選択に役立った」という評価が得られている。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ いて記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

0 1	設置計画履行状況報告書(令和元年度)					
а	ホームページへの公表予定の有無	(	有		無	)
b	公表有の場合の公表(予定)時期	(	令和元年	6月	1日	)
b	公表無の場合の特段の理由(				)	

(注) · 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

### 福岡看護大学FD委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡看護大学学則第3条第2項の規定に基づき、FD委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定める。

(任務)

- 第2条 委員会は授業内容及び方法等の改善を図るため次の事項を審議する。
  - (1) FD推進のための企画及び実施に関する事項
  - (2) FDに関する報告書等の作成に関する事項
  - (3) その他、FDの推進に関する事項

(組織)

- 第3条 委員会は次の各号に掲げる委員をもって組織する。
  - (1) 学部長
  - (2) 学生部長
  - (3) 部門長
  - (4) 大学長が指名する教員若干名
- 2 委員の他に必要に応じて、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。 (任期)
- 第4条 前条第1項第1号から第3号の委員の任期は、その職にある期間とする。
- 2 前条第1項第4号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた 場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

- 第5条 委員会に委員長を置き、学部長をもって充てる。
- 2 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名した者がその職務を代行する。

(委員会の開催)

第6条 委員会は、委員長が必要に応じて招集し、その議長となる。

(会議)

- 第7条 委員会は、委員の半数以上の出席により成立する。
- 2 議事は、出席委員の過半数により決し、可否同数のときは議長が決する。

(事務)

第8条 委員会に関する事務は、教務課において処理する。

附則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。